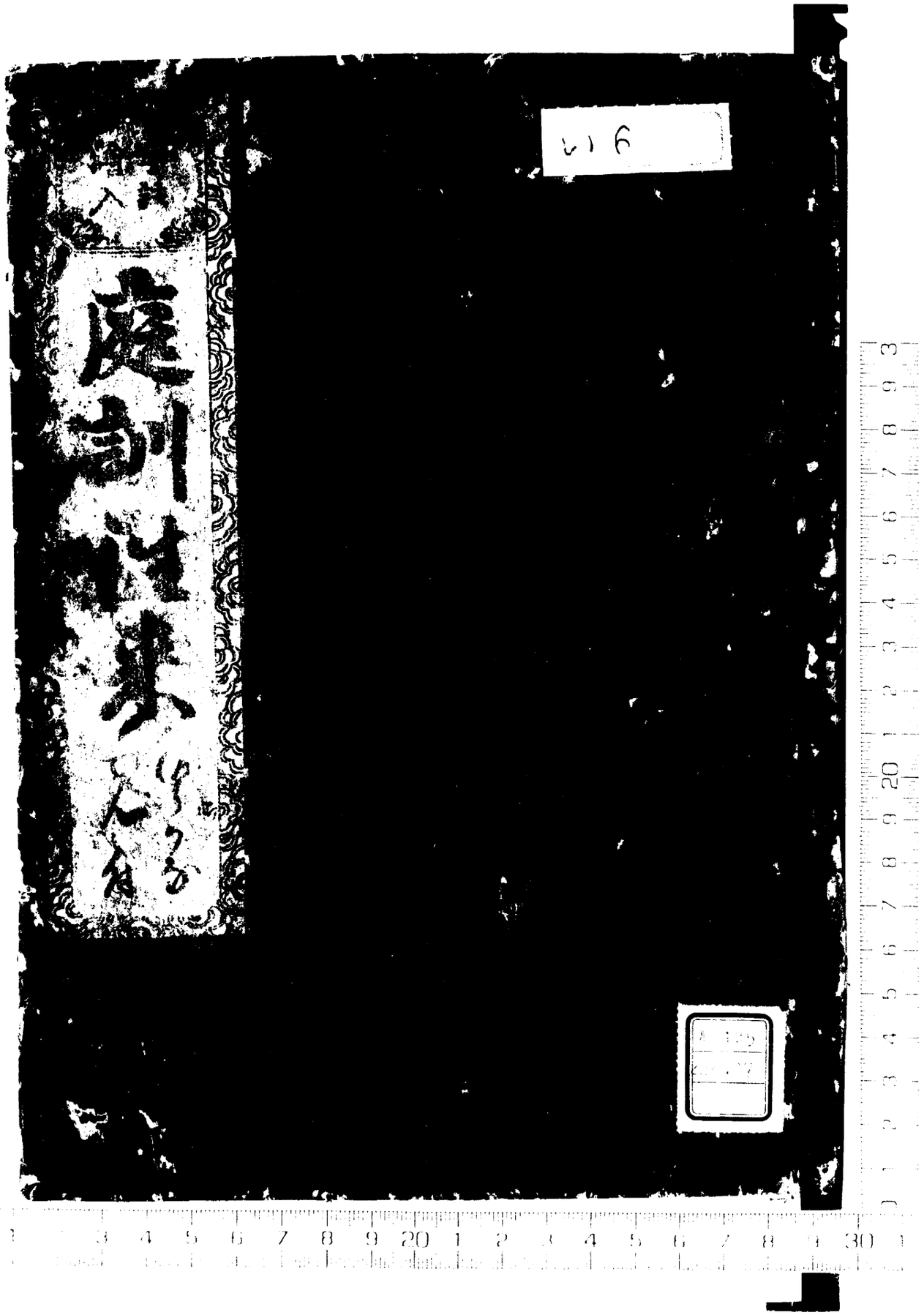


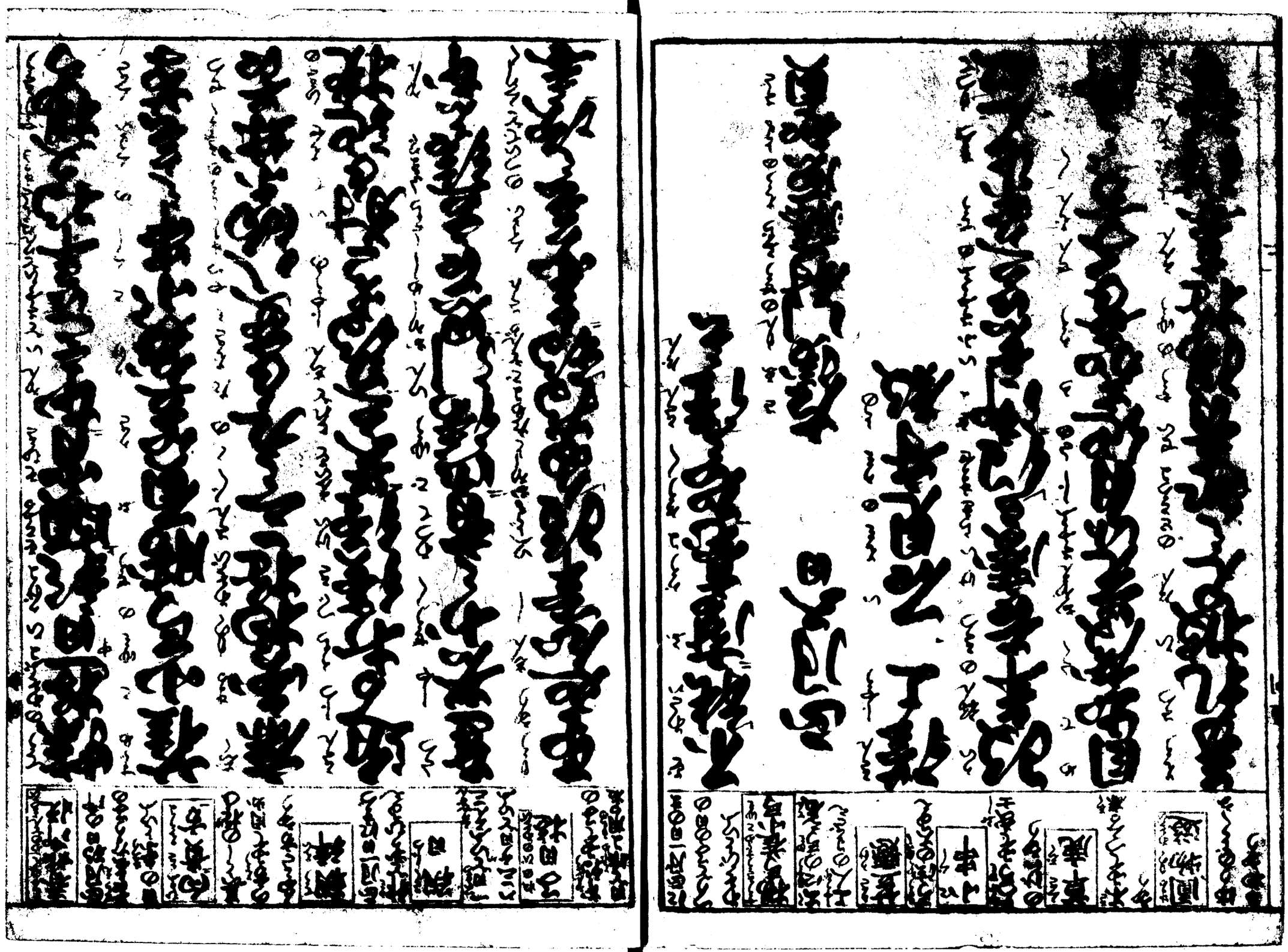
倍率　1／12

庭訓往来

春暖沖和の貴方と往戸に紙
信を入れ書くは誠に
朝夕の朝日えこそ
来る新年人々日出度
思ひ寄る様に申す

和 250718

不学
者文字者夫出智
先之厥庚子知字
異明於程何時集
今且刑式目字証如
十帖者教知雅馬楊
文路也庶教
上達矣



三五九

元禄の礼式

的

八幡宮の八番と射

唐毫

羊

自作の歌

作曲孫三郎時盛扇に

仕舞月出雲

六番元上京

内大臣宗貞

右京中深草

三位

青陽

月の人数

毬宴

雪凍

二位中将西行

西行法師

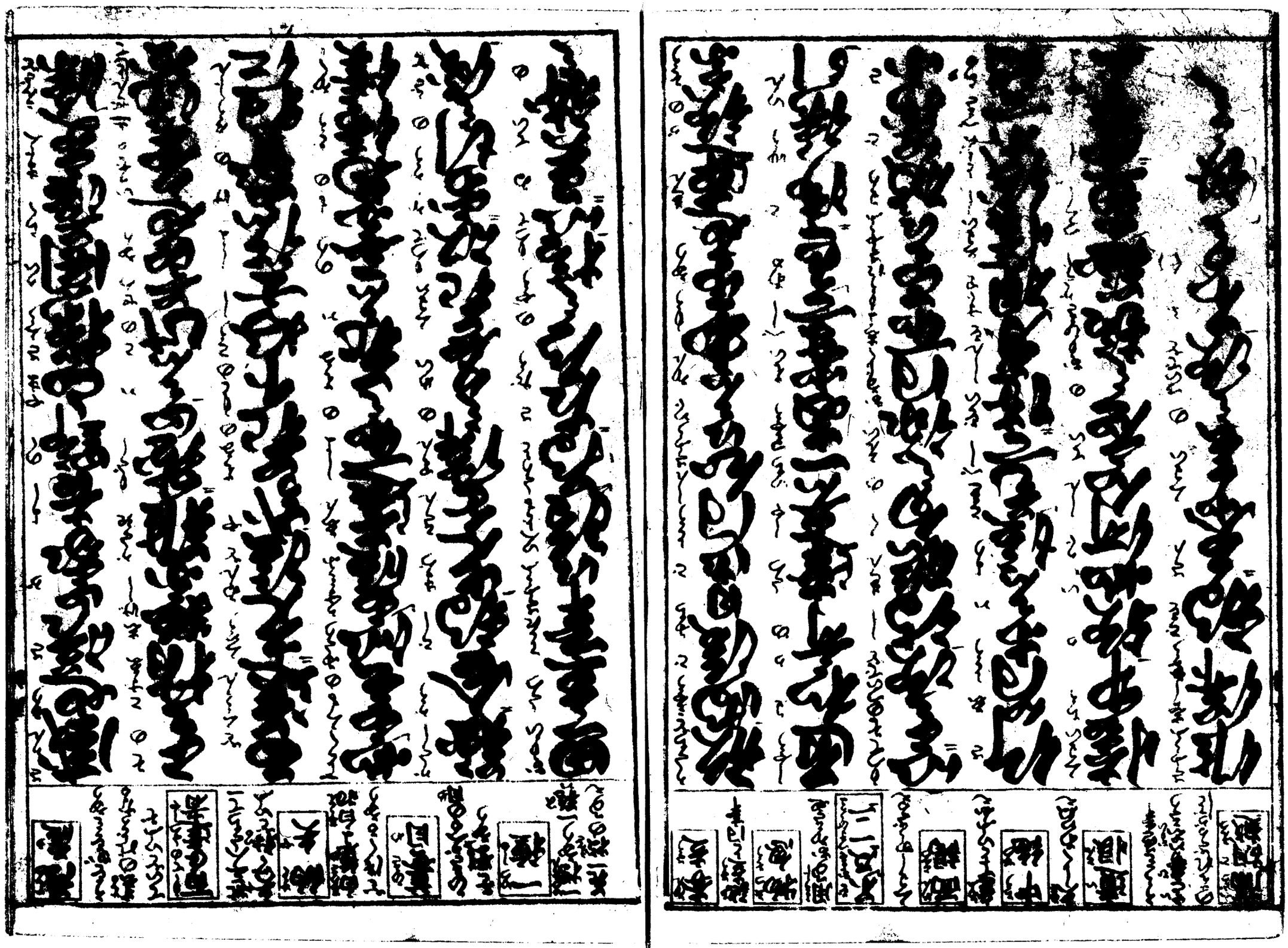
源義経

西行法師

西行法師

正月六日

石見寺中原



二月廿三日

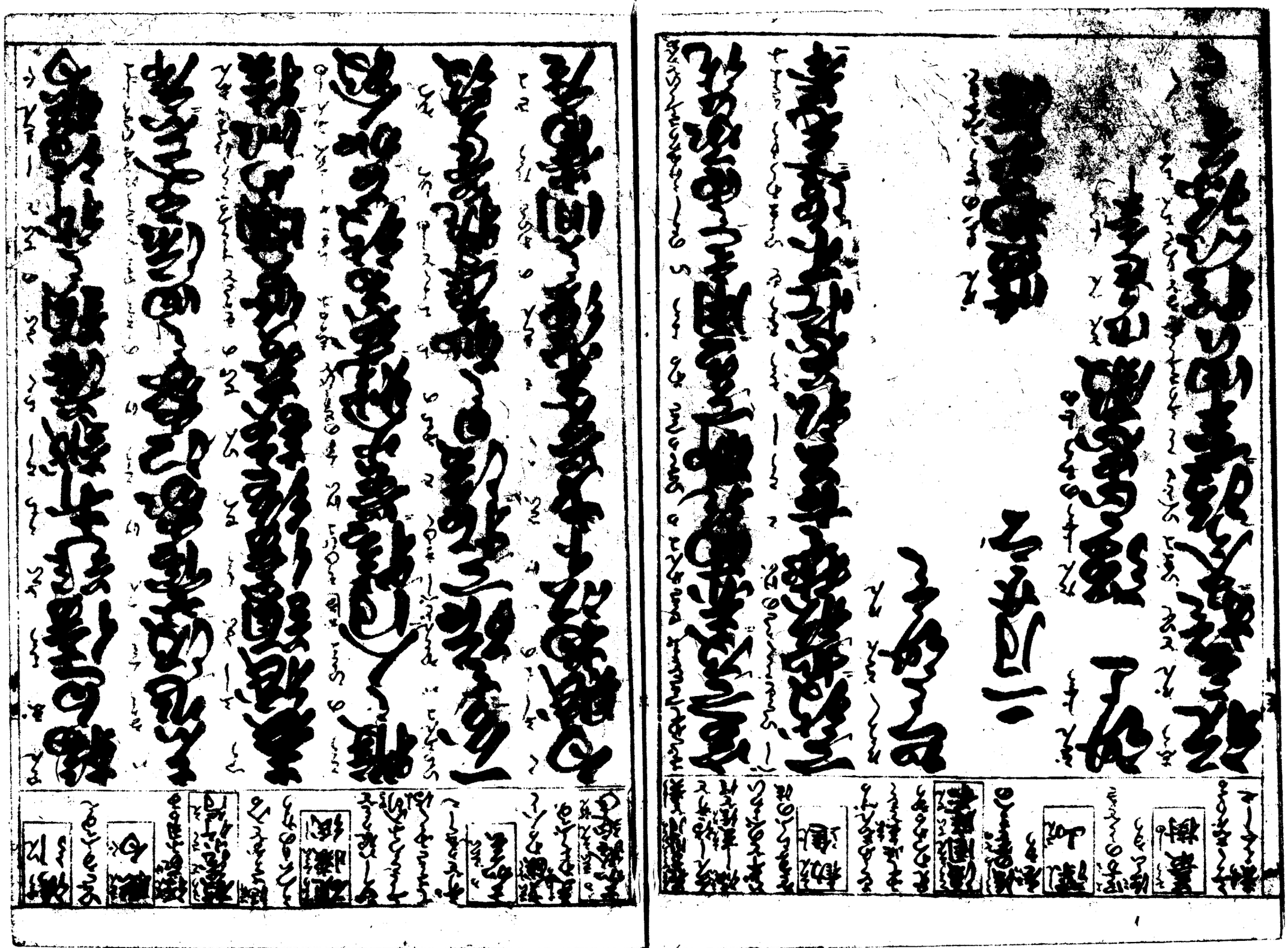
浅草三社

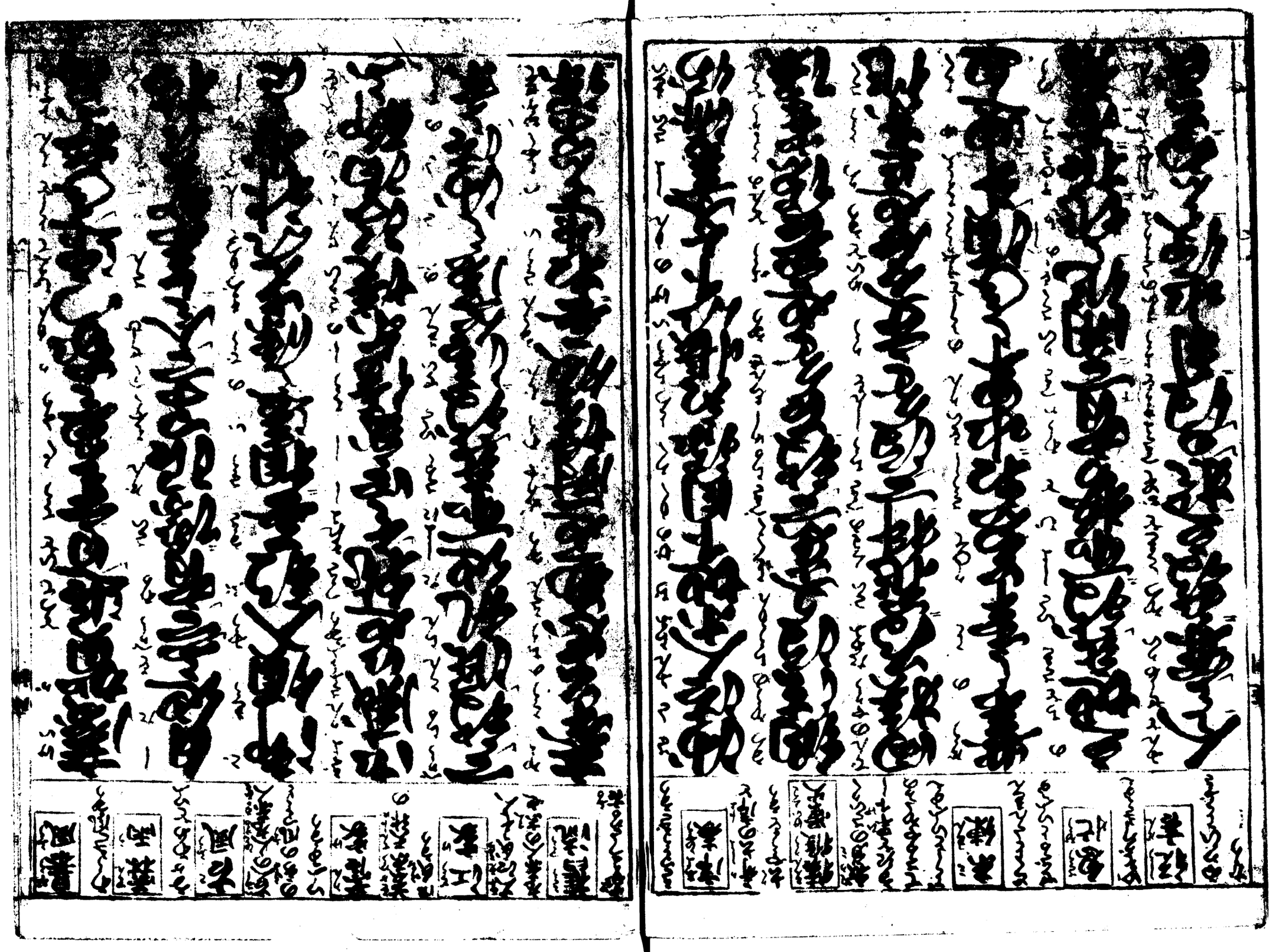
大酒盛

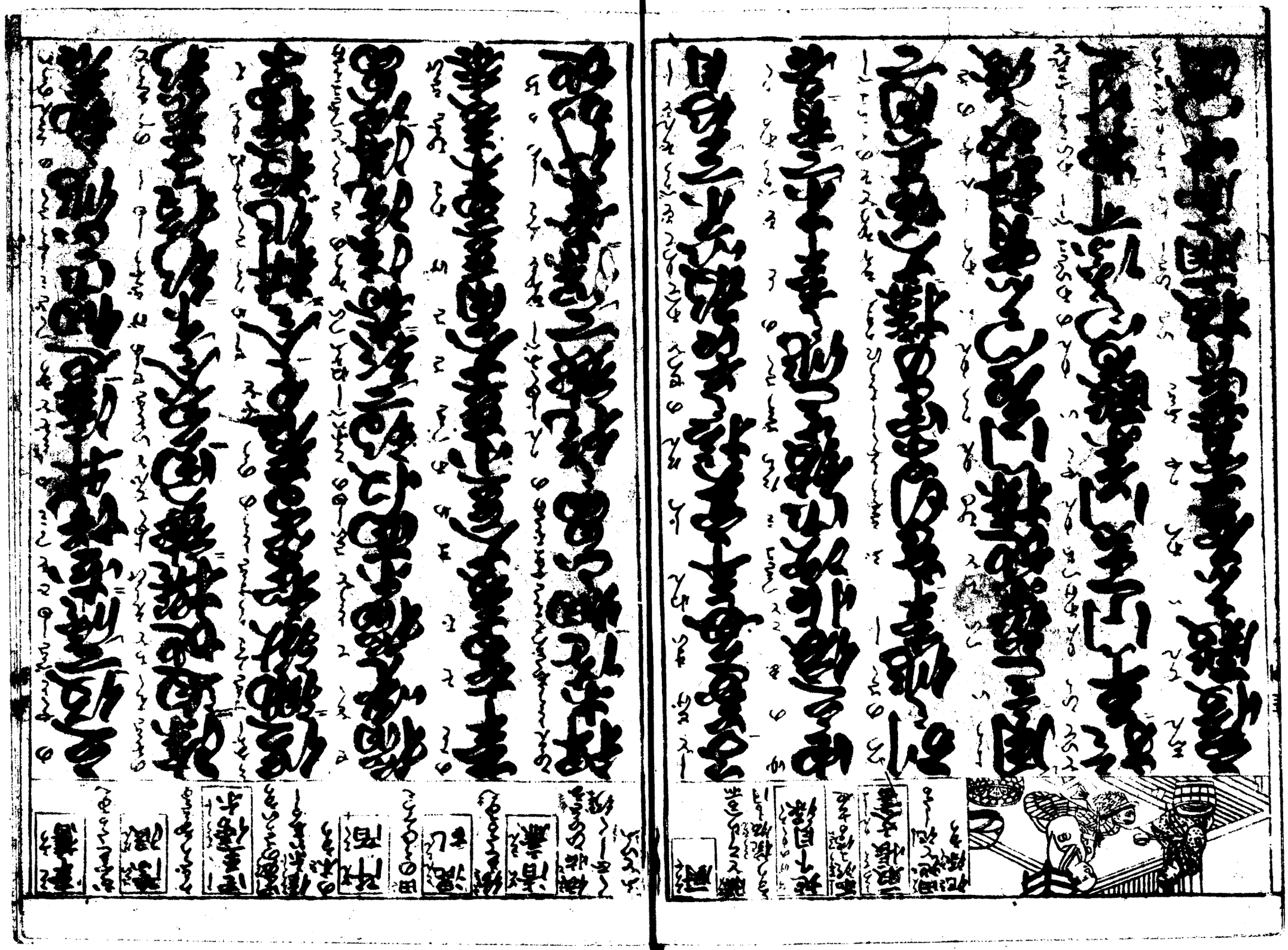
[illegible]

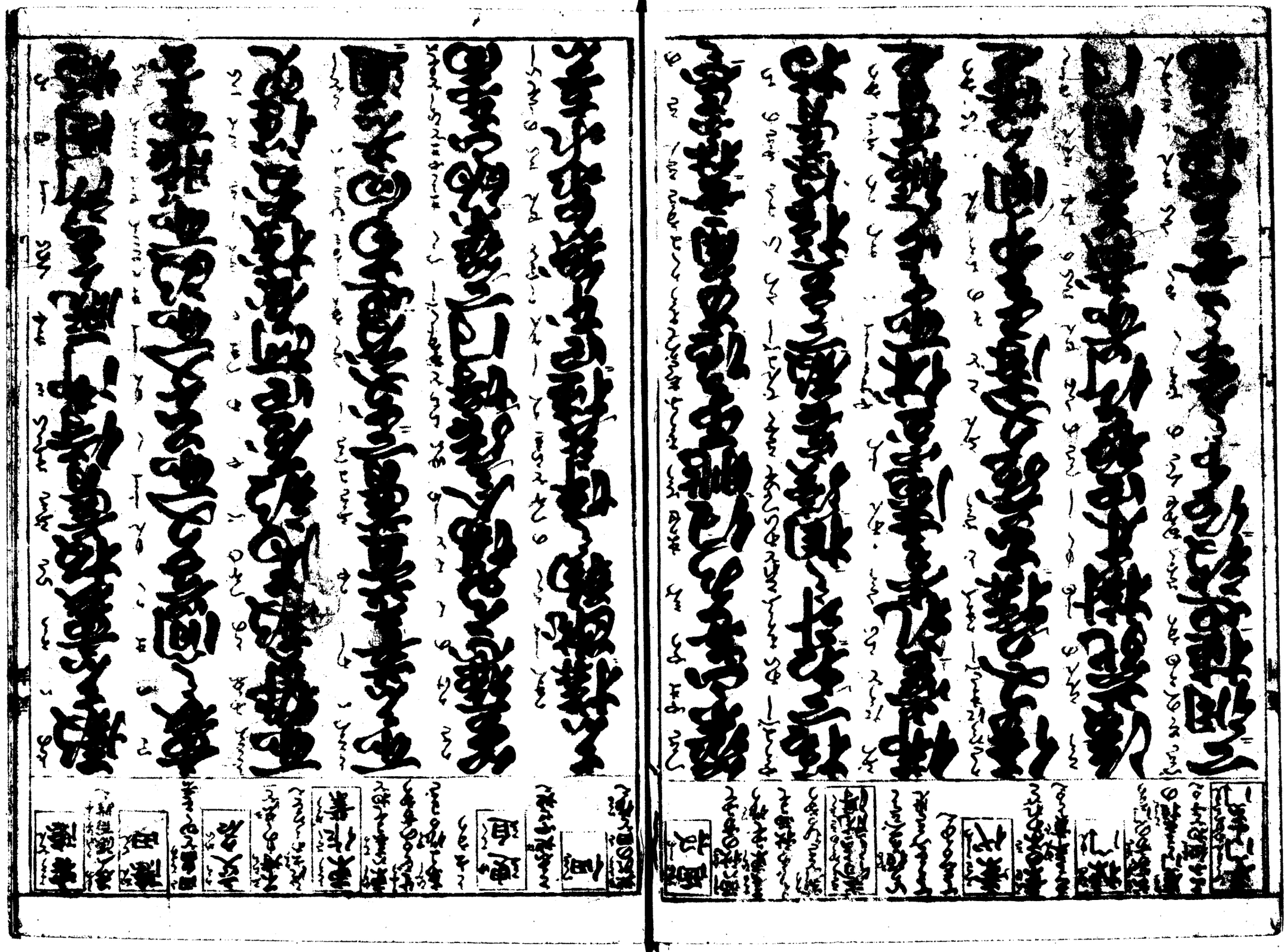
[illegible]

[illegible]









最中

行失

失墨

蜻乱

沙汰人

賓否

玄貢

年貢のまき

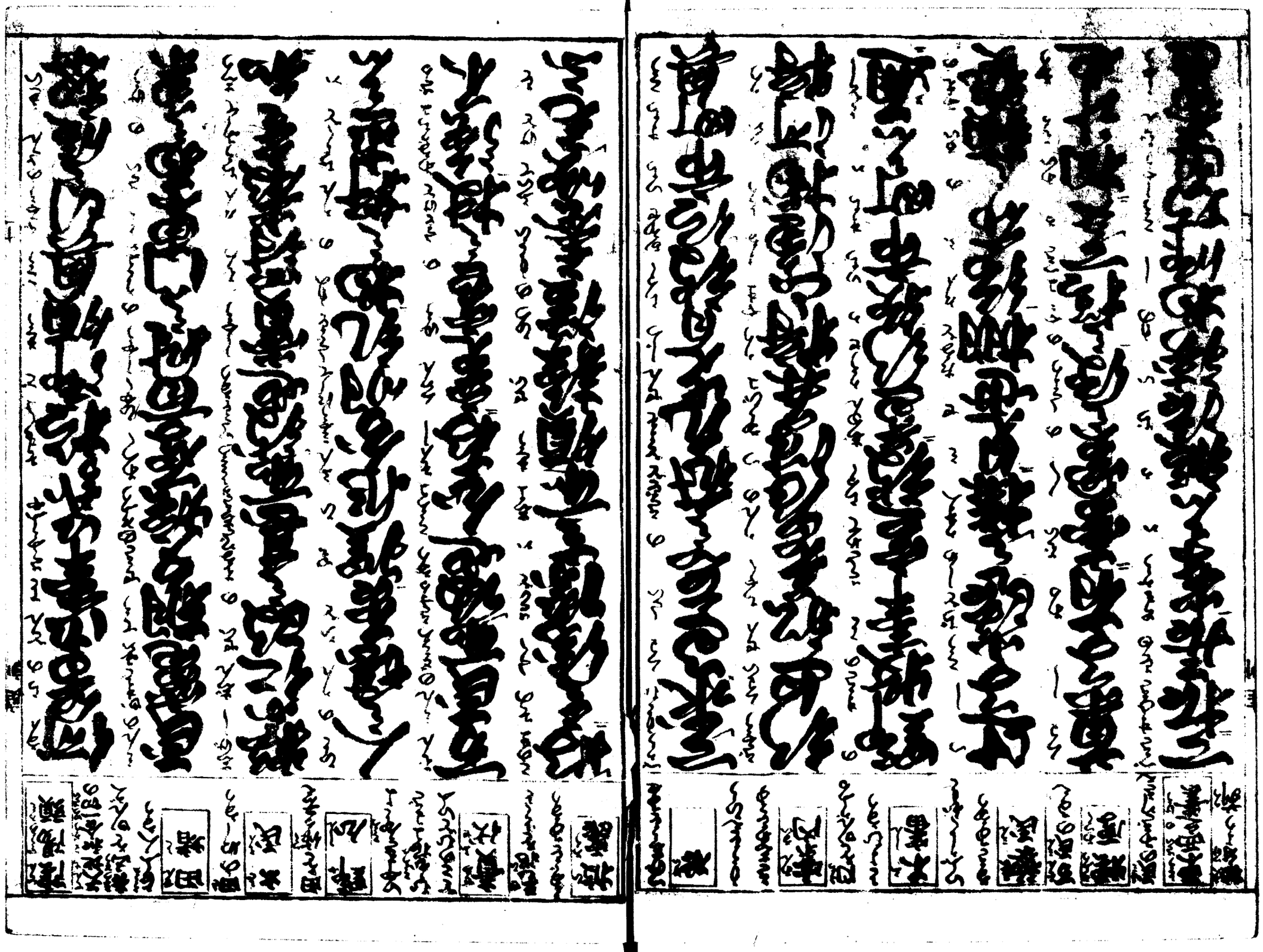
貢數

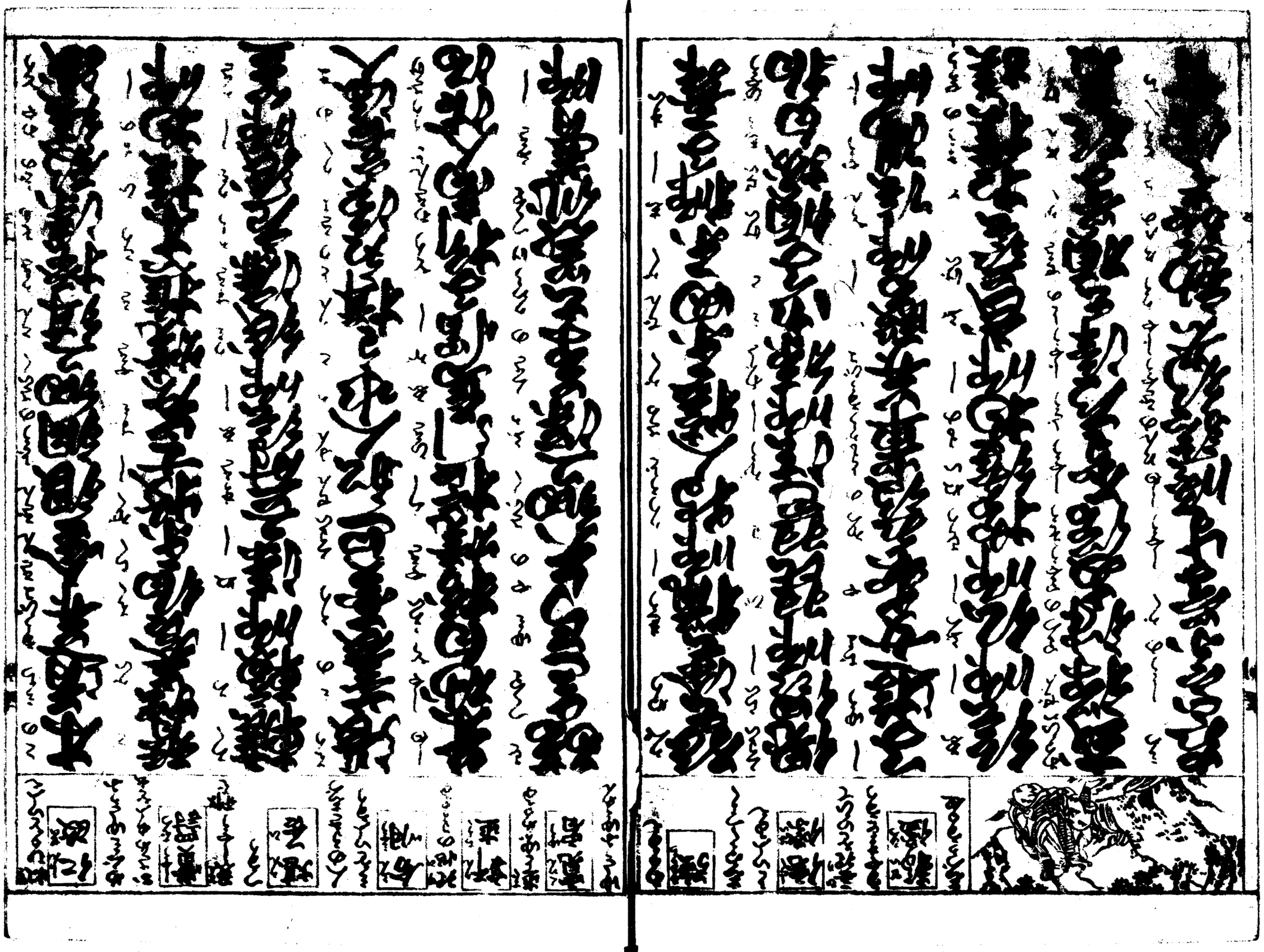
虹梁

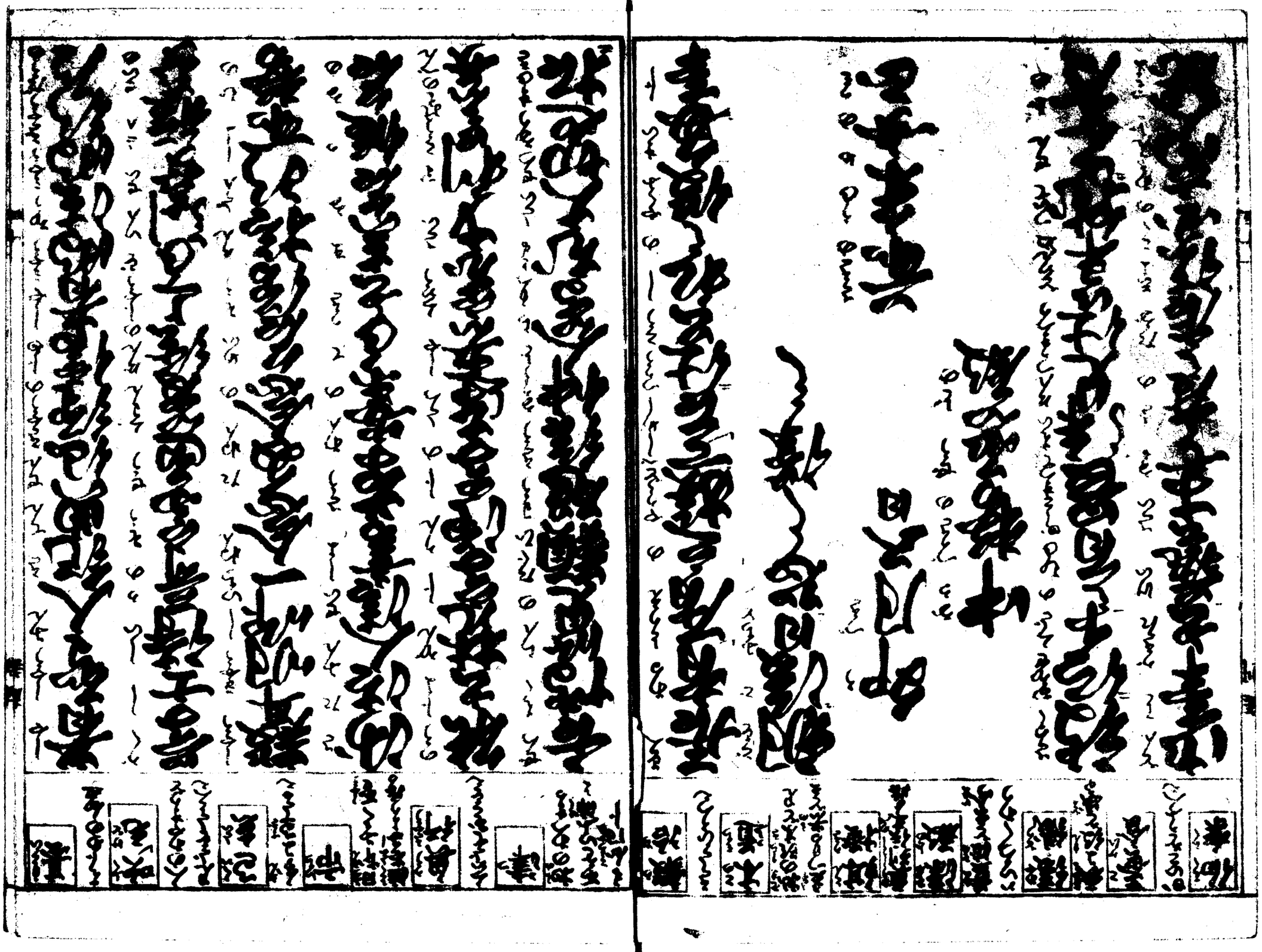
巧遁

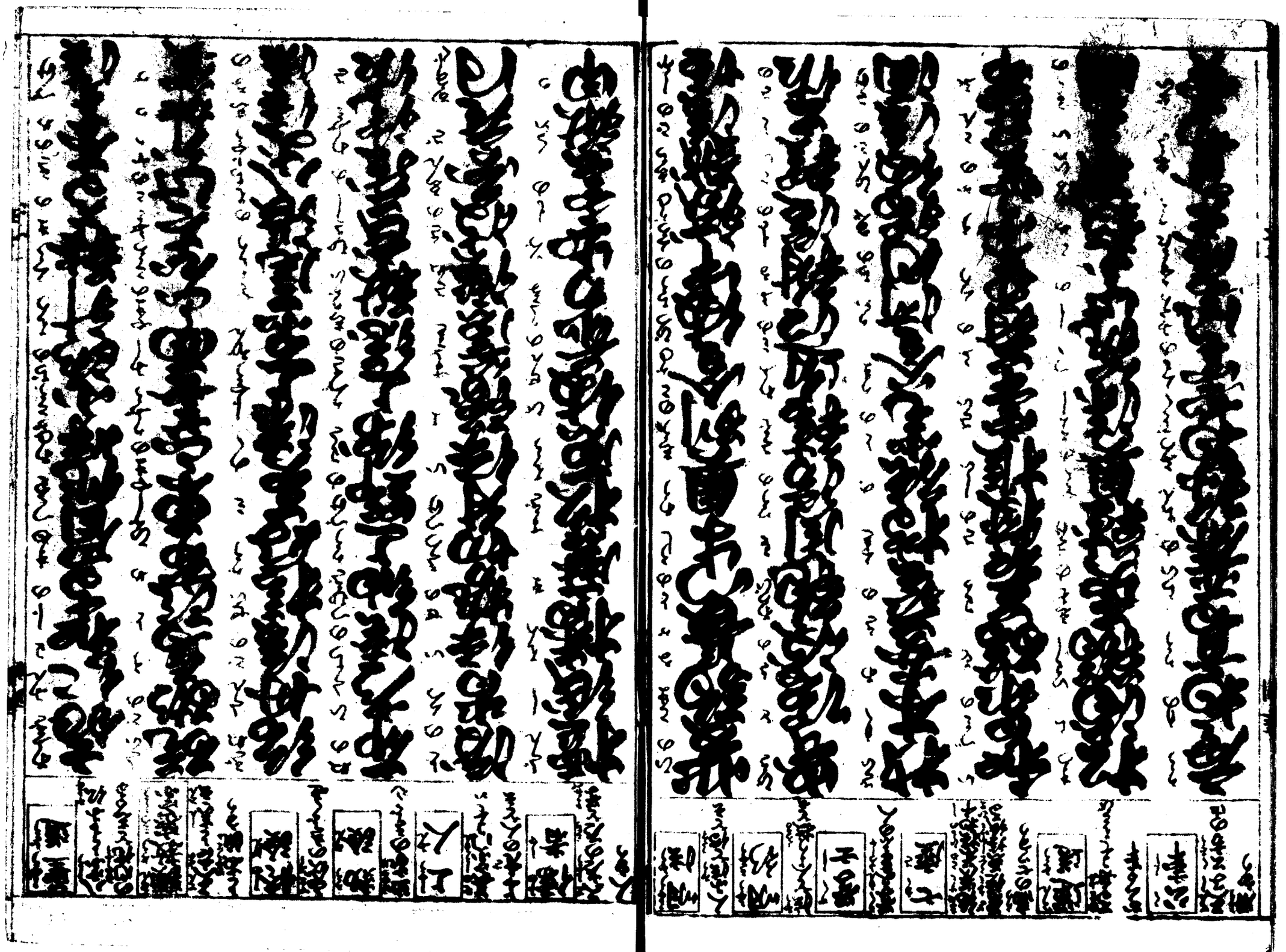
大工番匠の棟梁なり

三月十五日









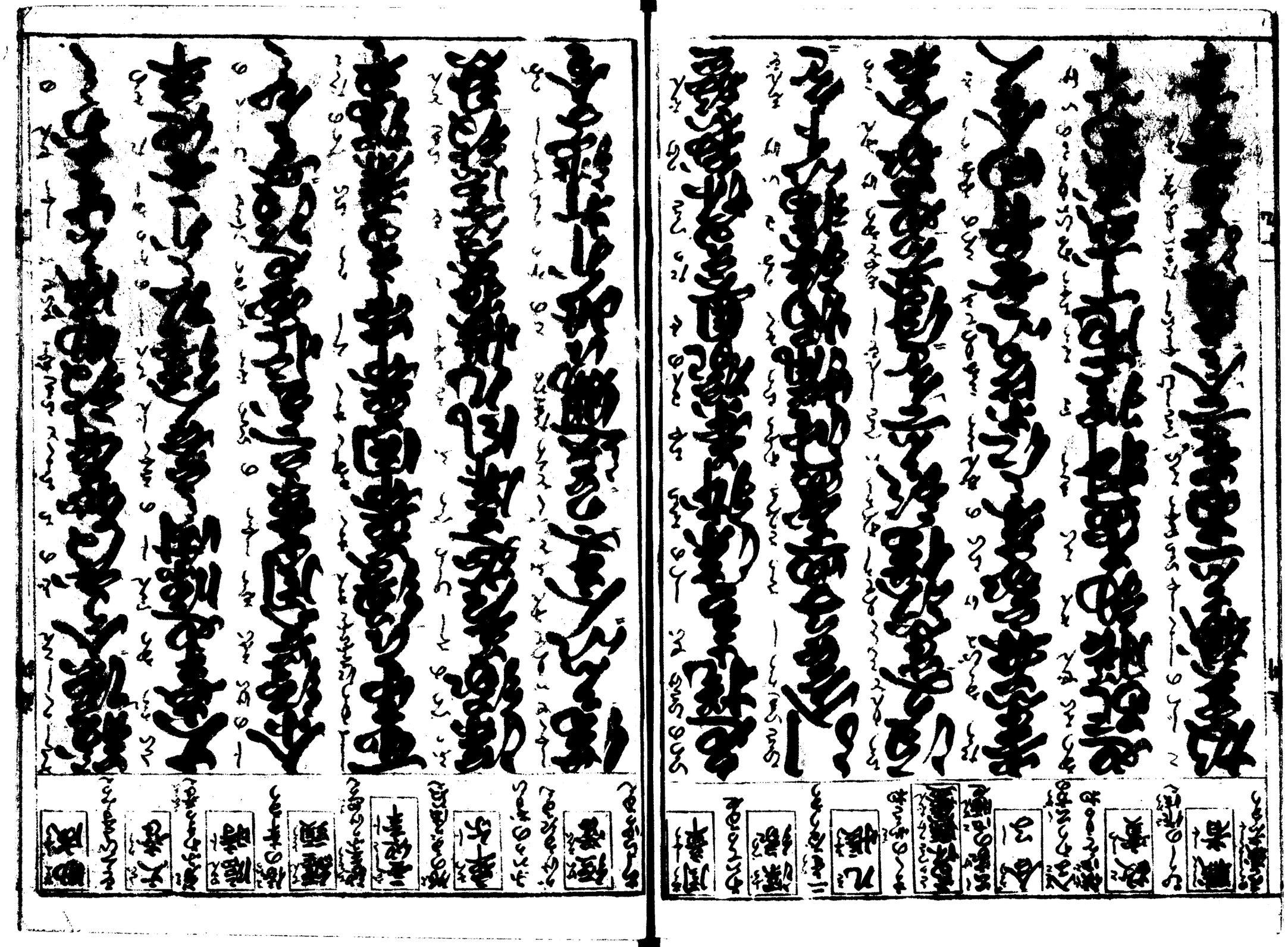
月迎上分
利益の御豊
年頭
年賀のごとくに
力祝
河内のだらん人
る借
だらんとる道
車借
車力どころ
車力者
よれとしてくろう
良久
いつくしむ

実利潤新富家
当時人家繁昌
繁盛人今年
あ申し人富家
すそふしんてかいきかてこと
こ年ゆ也長者
順徳年中遠長
ものつくりはじめ
如月十一日

中巻之終

被勝者
いつくしむ
関東
おさうろう
資具
つくりもの

年上　家女房
長人商売
武州商法
関東商人
使手
芸者



寄物
不具
不書
紙書
便宜
先除
結様

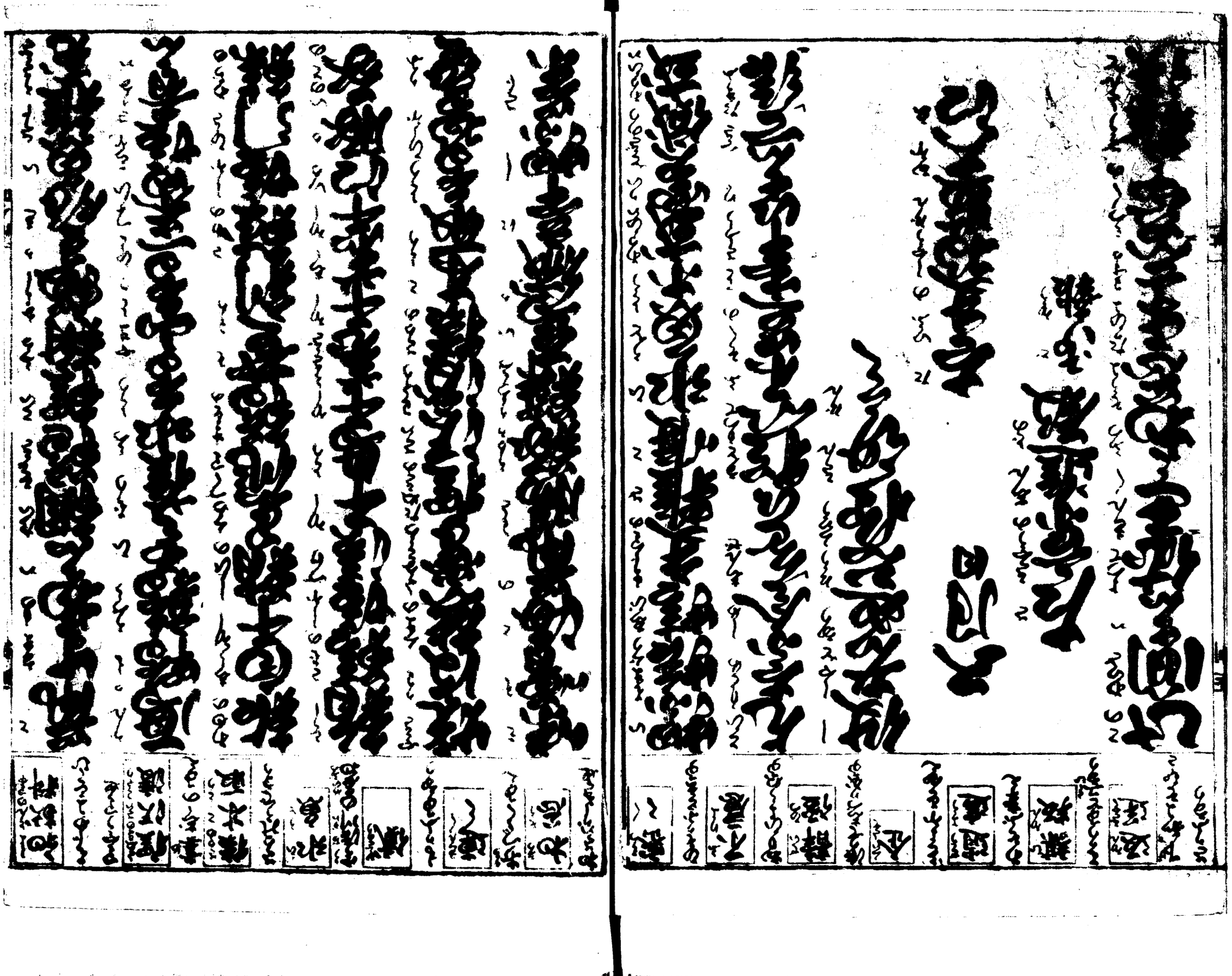
奉感恩無心不能其様体
初春新年不具三体様

八月九日　　左兵衛督

左上　夢人侍医殿　少輔

不審書恐惶謹言
紙書便宜物不能其様

参進
人々除様様
用意事事
芋煎蝦
雑米
酒肴梅米
干物



山徒 やまとぶと

廻文書 まわしぶみ

猥藉 みだりがはしき

強竊 しいてぬすむ

徒黨 ともがら

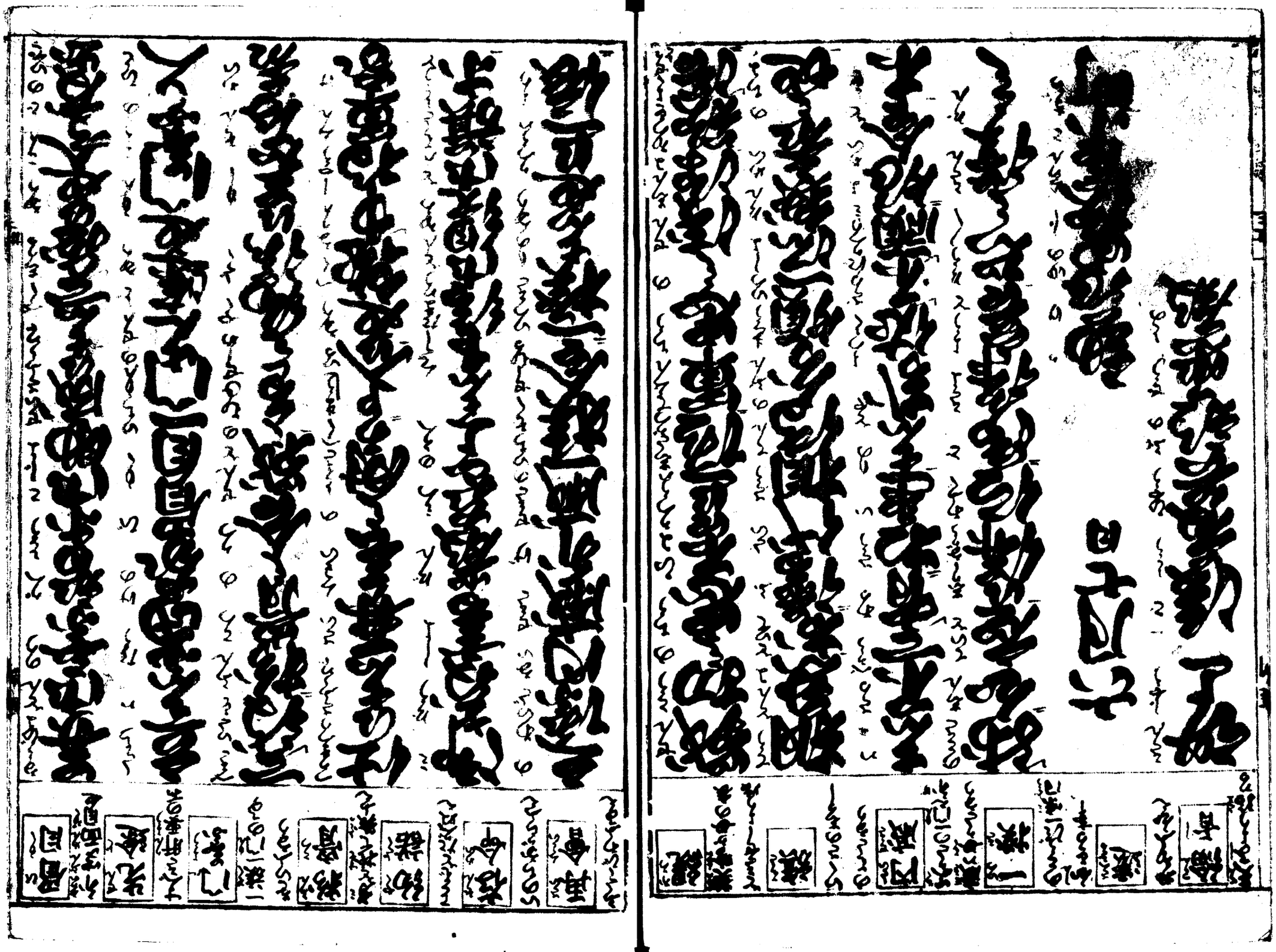
横行 おうぼう

財産 たからもの

[illegible]

[illegible]

[illegible]



陸宣

陸宣公奏議

指南

大将

副将軍

偃伯

偃用

今教者乃是者乃是者乃是
作之系相計中事之務
戰場之要務也而其備
有備宣公之規式今有常者者
則今指揮大將軍副將軍御史偃
業務偃伯偃用之兵偃用之將軍

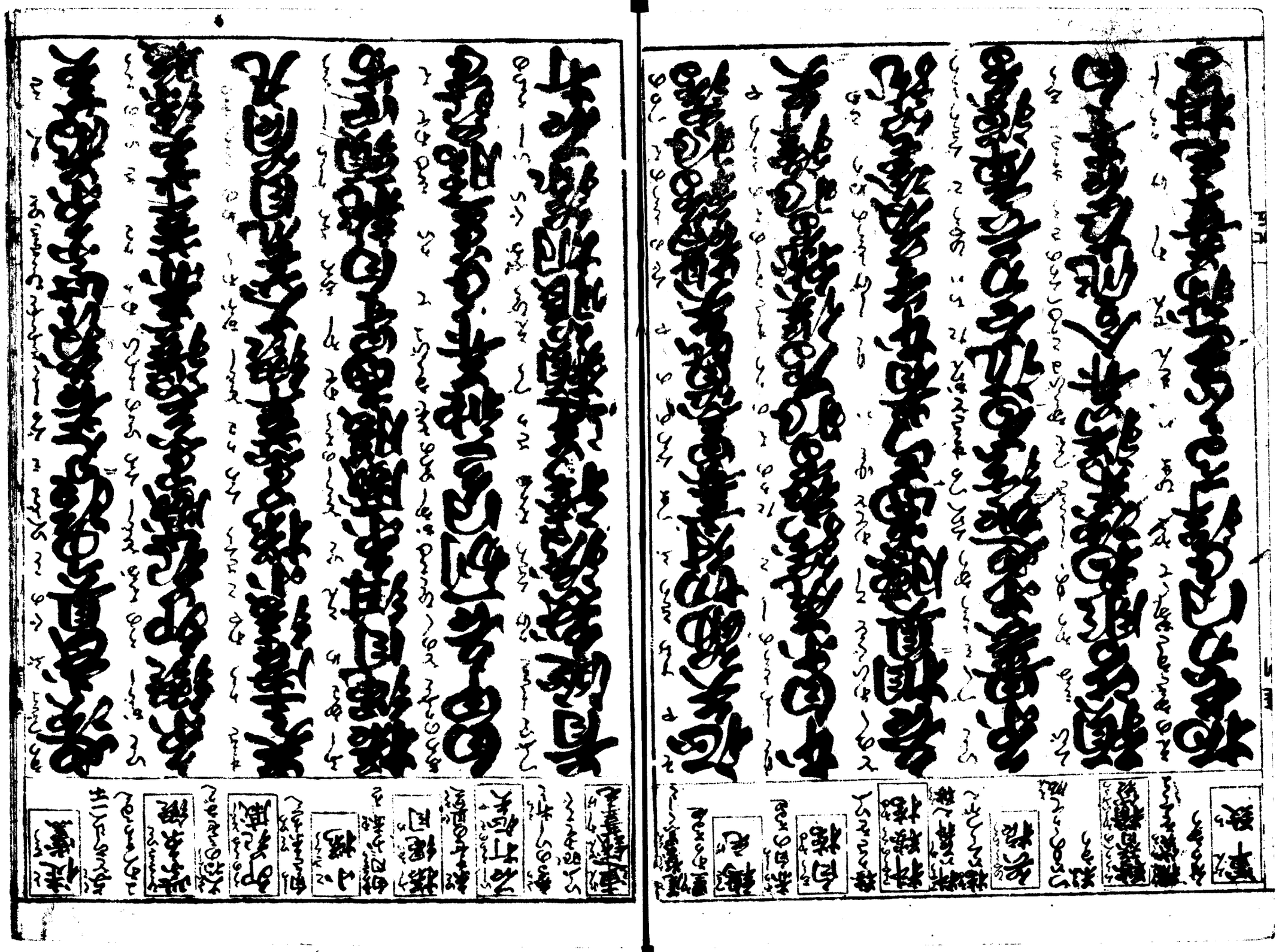
規模

後昆

与用

貴貢

家之教者乃是者乃是者乃是
指揮之規也而其備也
洋洋乎乃是者乃是者乃是
孫子之兵書乃是者乃是
有偃業務偃伯偃用之
軍忠書一冊家之宝用之



いてさそ五
うるゆえ

恍判状
威状のこと

後亂
ひつぎといふ

亀鏡
ちゅうしゅうこと

恕剣
さいりょうしゅ

大罪
たいとりのこと

仏宅
ぶっしょうこと

恐
きょうふ

不慮
ふいのこと

駈加
きょうかゆえ

所嘗
ためしこと

激力　ゆうりょく

寸暇　ちょうか

愚状　ぐじょう

陳申　ちんしん

風流　ふうりゅう

紅葉重　もみじかさね

揚裏　あげうら

蒙　こうむる

袖練貫　そでねりぬき

浮文　うきもん

関結巻漆　せきけまきうるし

掛帯　かけおび

表衣　うわぎ

水干　すいかん

世の人の為に尤の名所境
岩根の忘れ草の時に成て
池の水に月の影
六月十五日　無為亜冊
紅葉重　動の中決定殿
揚裏　人の為に不出加傍輩
蒙
袖練貫
浮文
関結巻漆
掛帯
表衣
水干

表うら

直衣　うるしぬり袖をくるまきひと

狩衣　きぬかりふくろる表うら

大里行縢　康のうるものはいて作るえ　りまのでし天　笠の沉星まる　うしまる

薄紙　うとやう紙うら

松座　座れいてうさん

羅袖珠貫陰つ張摺張書目結高張
村濃摺張小袖同裏筆尖蒔絵
沉箱冠表忘水筆垂衣特衣鳥帽
子垂書大口大指子大力大力腰刀脇刀脇胡
籙大口紗勝鬼鞦生脇鞦赤鞦地上品
位久書和筆摺戸地上品

表古　やうぐうう

狩衣賊　やうぐうう

用場　用ゆうてこ

七月八日

左衛門大中臣

全上　天内外捕殺

長紙松座　内裏地下殿上

高張松座　内裏地下殿上

直用松座　内裏地下殿上

要用松座　内裏地下殿上

要用　入用のもの

黄袍　黄色の衣

屬

長絹　丈の長き絹

素絹　白き絹

法服　僧のころも

七條　袈裟のめくり

衣二重の法服　袈裟の長

絡素絡袈裟　袈裟法服

弥七條袈裟　横長絡の下袴

杖拾貳条　杖拾貳条

珠数　数珠

法服黄色の衣　法服

二領　二領の袈裟

横長一対　横長袈裟

撫尾　けさのくく所

長高草鞋　草鞋

不用　用ひず

着　着

強　強

徒用　ひまとつかふ

芳恩

草鞋壱方　草鞋

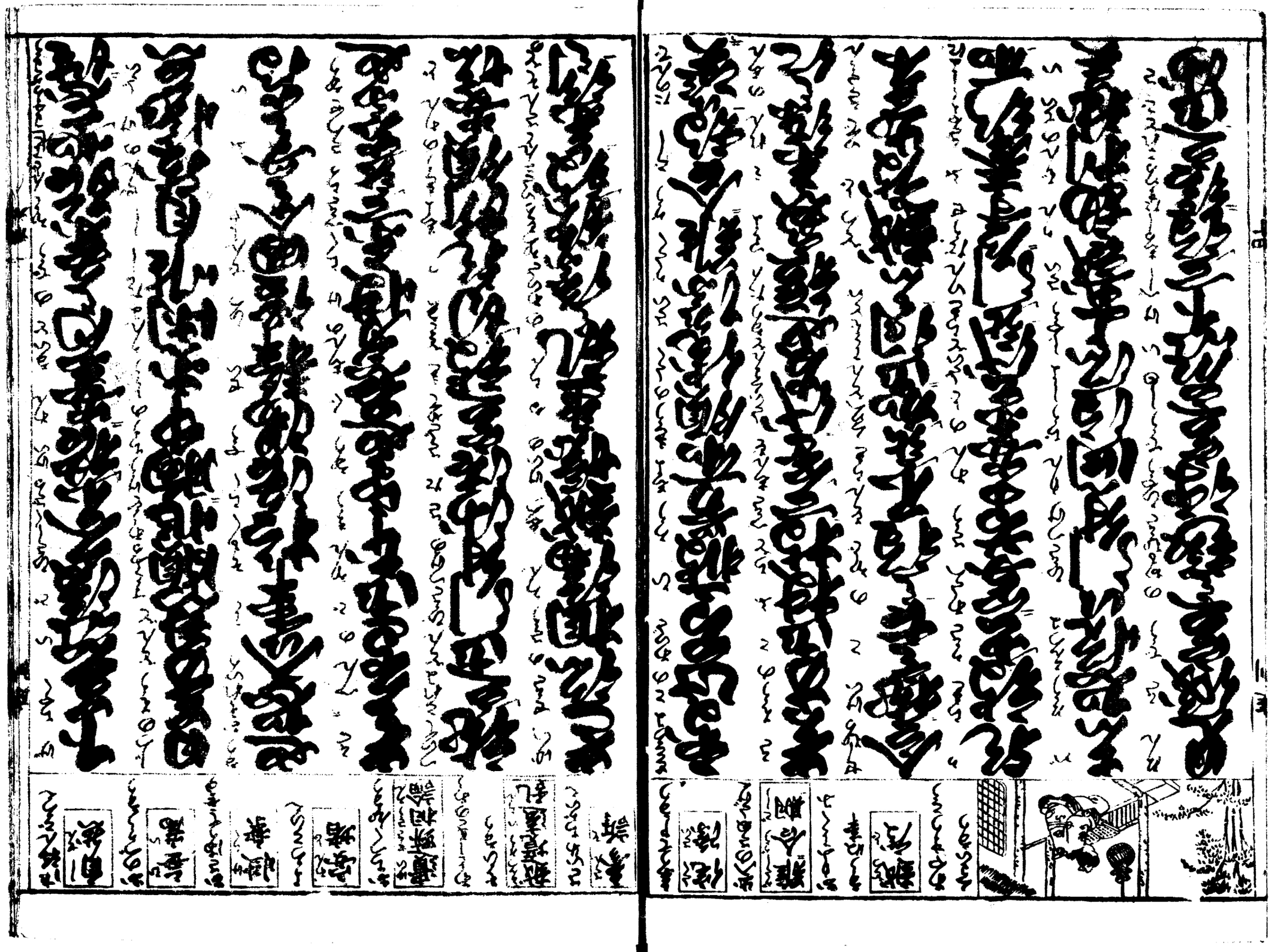
二領袈裟　二領の袈裟

素絹　素絹

七月日

沙上　大蔵要覧

紀

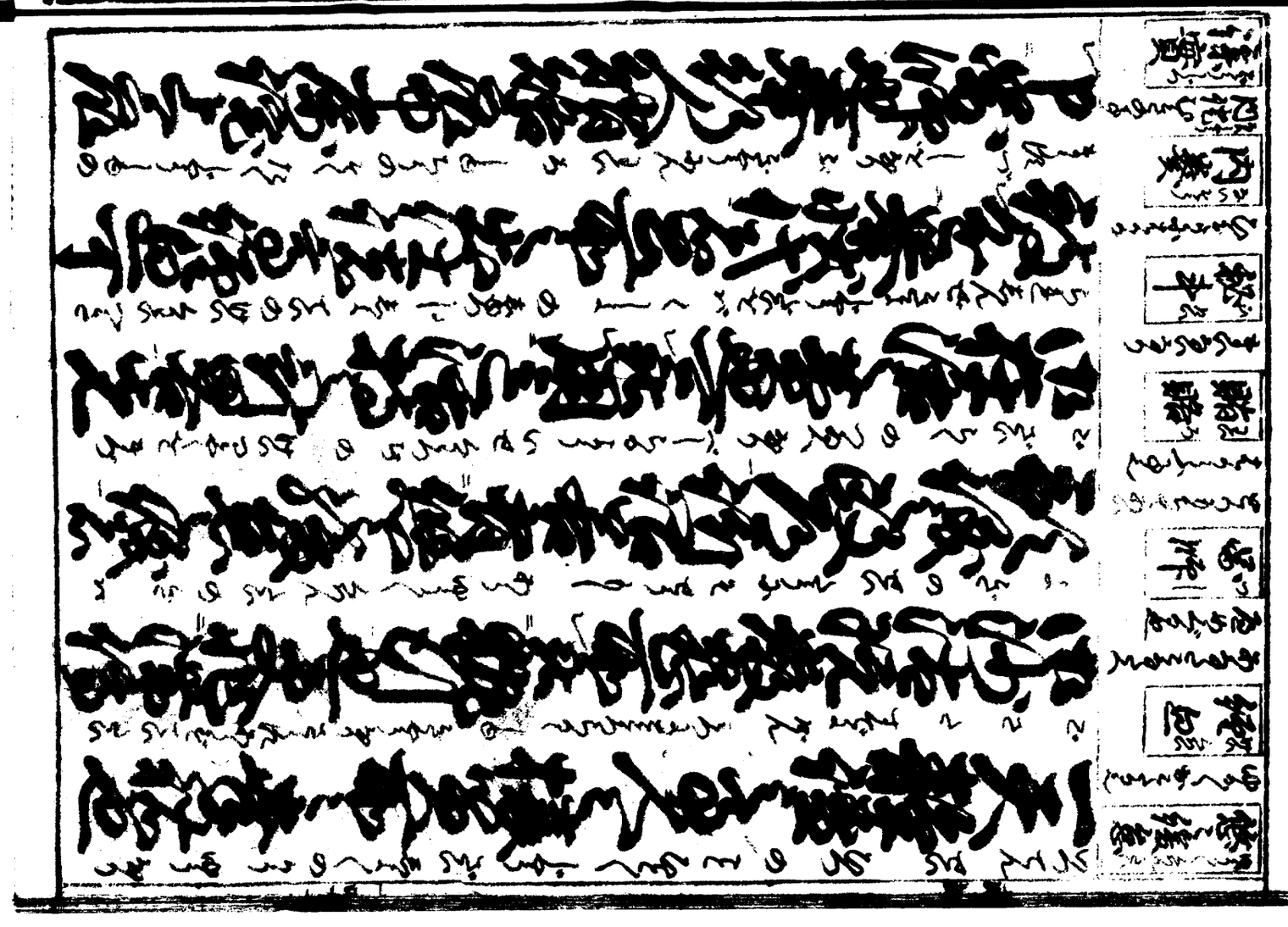


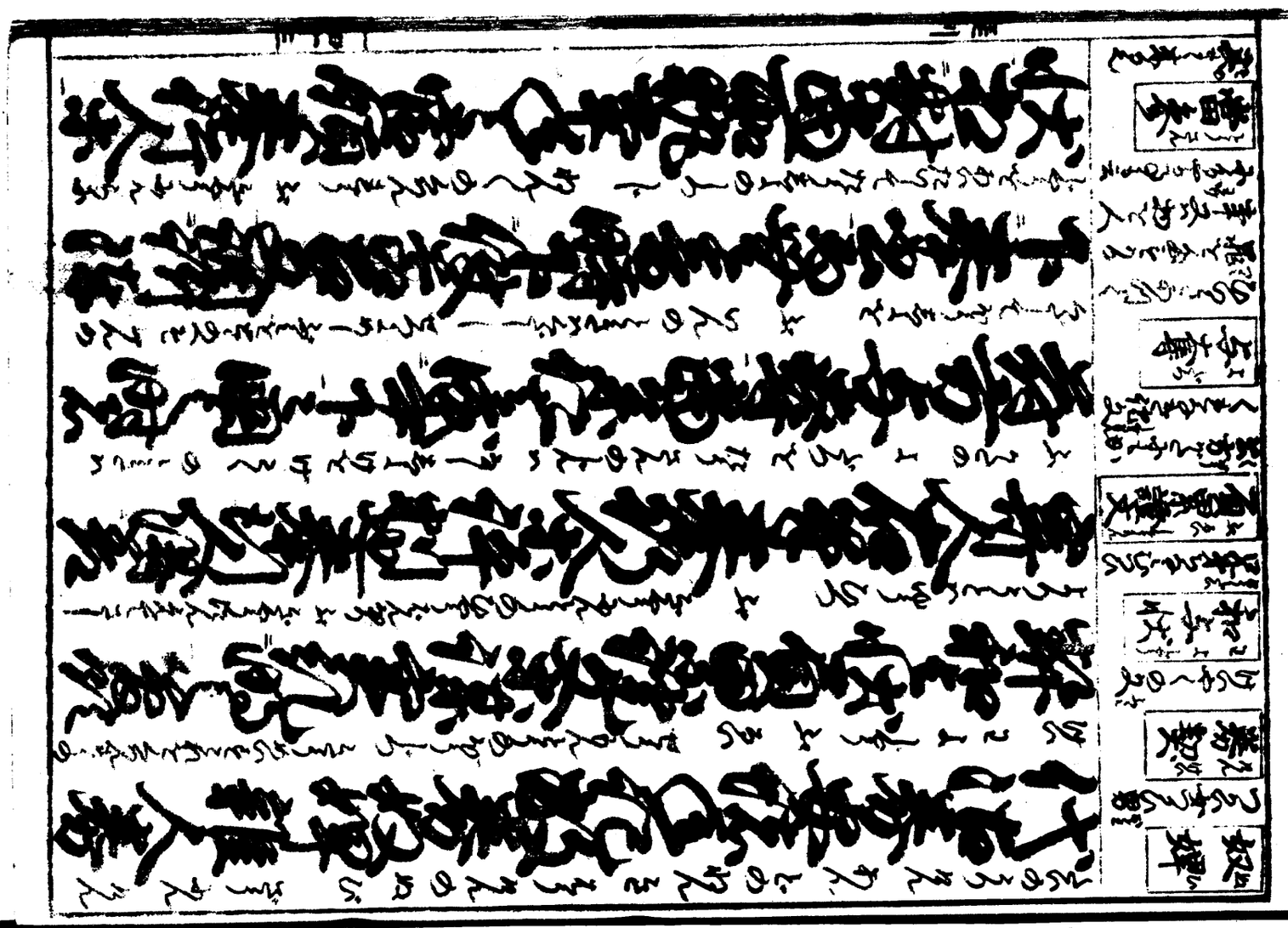
上裁　さいさまのゆ
美見　いろくのえゆ
律令　りつれいかきそ
螢雪鑽仰　いつまても学文
雜訴　いろくの訴へ
管見　ちとうのひとつ
心事　しんしの事

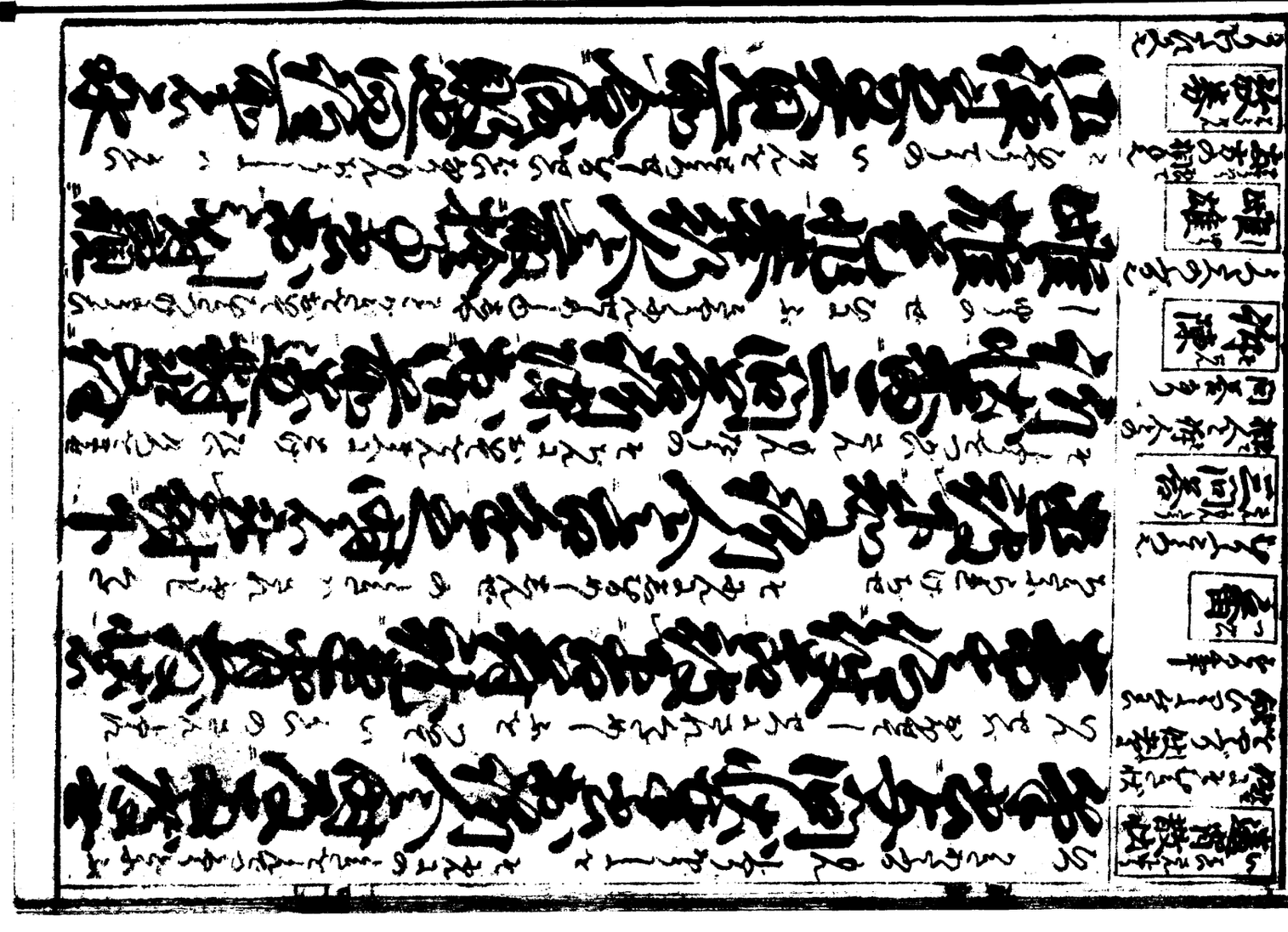
法令は世の秩序を維持し例下和
成規律制法律人民家を和
仕業法度は学業を奨励し功を積
僧侶は自己法行に分別見者不審
事を言葉高地に居て法義を説
物を風俗に乖き成家を人民

疎略　そりゃく
芳問　ほうもん
孫金　そんきん
廉潔　れんけつ
攘災　じょうさい
筆祐　ひつゆう
仲津頑儀　なかつがんぎ

筆を虎豹に比し所詮を
七月晦日　加賀大極和氣
上　民部大輔殿
綸旨を不申通深略を
公家を尊崇し寺社を
法華経を尊信し







双傷
切り合て疵を
蹂躙
踏付
勾引
人を誘ひ
嫌疑
そらしの事
犯科
ちがへ
推問
ぎつとして問事
拷問

[illegible]

拷訊
拷問せうこと
ふうじせん
斷罪
こころふとい人
流刑
ながしつかう

[illegible]

火印　ひのもとの印

追放　おいやらふること

戦評　上きくんとさ　ちきて所てん

覆動　くつがへてうごく

庭中　大うろの中ほど

勝計　ちそいかぞへ

紙上　一まいぶんのうへ

越前国一向宗動乱仕候様子

八月十五日　大坂殿

信長公

去比御出馬の節、御切腹不申上候

京・大坂・堺・奈良・和泉・摂津・河内・近江・丹波・伊賀・伊勢・尾張・美濃・飛騨・越前・若狭・丹後・但馬・因幡・播磨・備前・備中・備後・安芸・紀伊・淡路・阿波・讃岐・伊予・土佐・西国・東国・北国・関東・奥州・出羽・南蛮・天竺・唐土・高麗・日本

疑過　とがをうたがふ

和駁　まじりあひのまること

魔天　あくまのしろ　天ましまのやくそ

陳頭　人のあつまる所

布衣　ぬのぎぬ　ぬのぎぬとおなじ

景勝　けいしょうさかひのまさる

賽
祭りをすること

礼奠
先例さまざまの礼儀をなること

如在
たとえ縁ありあるかのごとくの礼儀

神感
神霊の感応

厳重態
やかましき作

掲焉
あらわなること

[illegible]

[illegible]

[illegible]

僧坊 入寺家と云

脳士

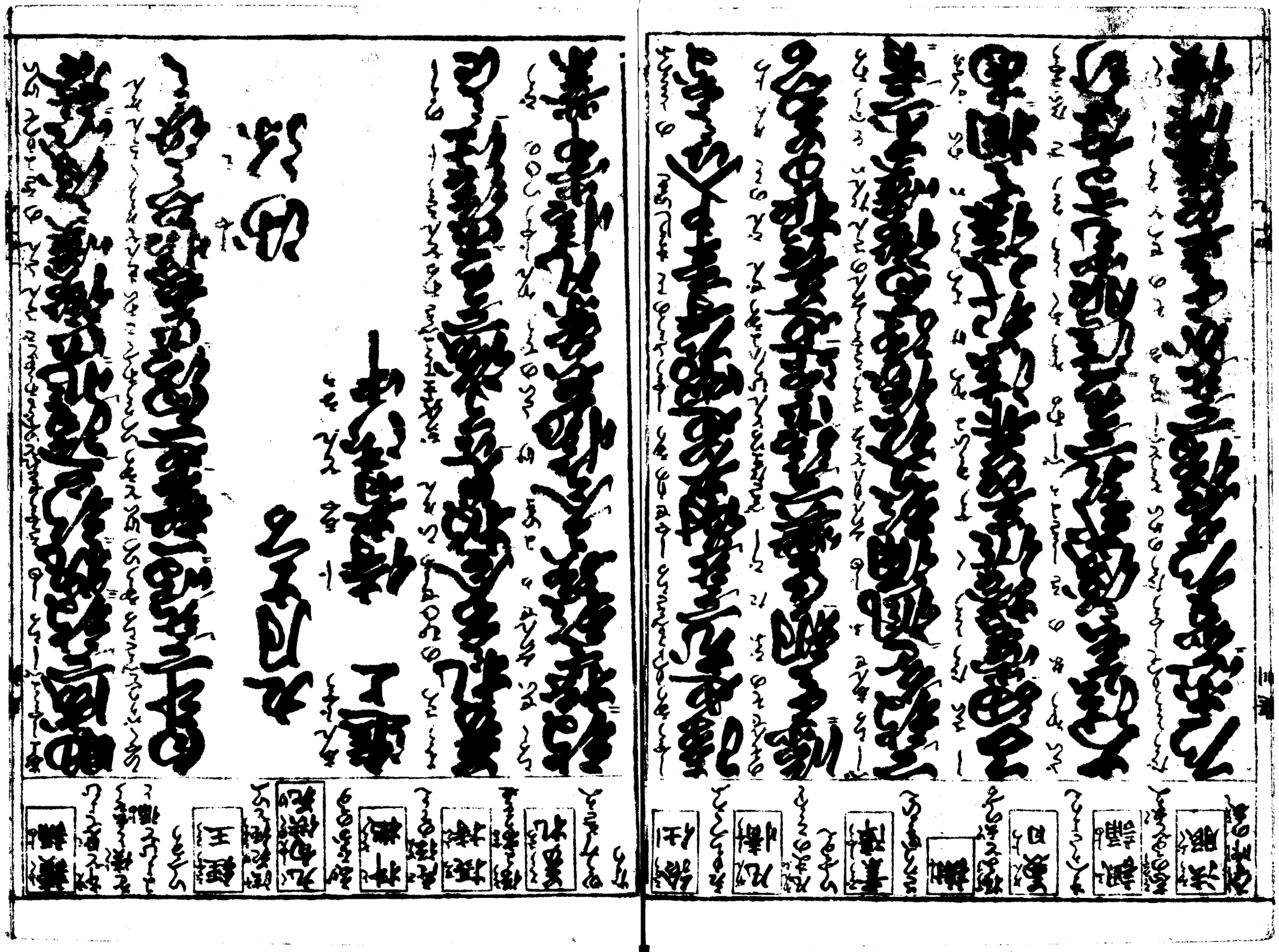
魅影

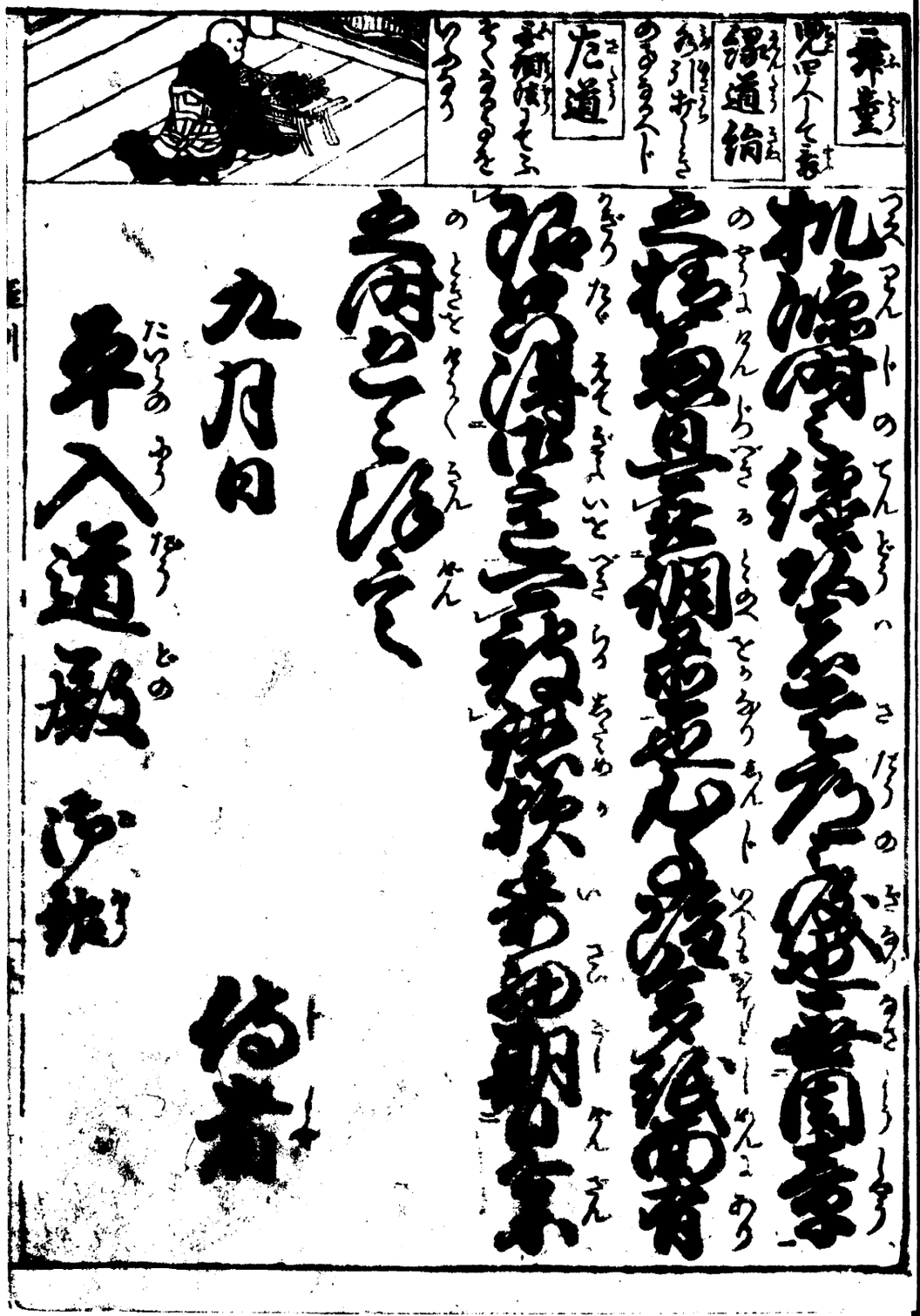
指図 様中と云

[illegible]

[illegible]

[illegible]





線香
ひとうり

後仰
ごぎょう

法記
ほうき

沈香
ちんこう

線香
せんこう

加佐
かさ

乗畫
のりえ

湯道絵
ゆどうえ

左道
さどう

仰法花経
ぎょうほけきょう

普賢菩薩
ふげんぼさつ

九月日
くがつにち

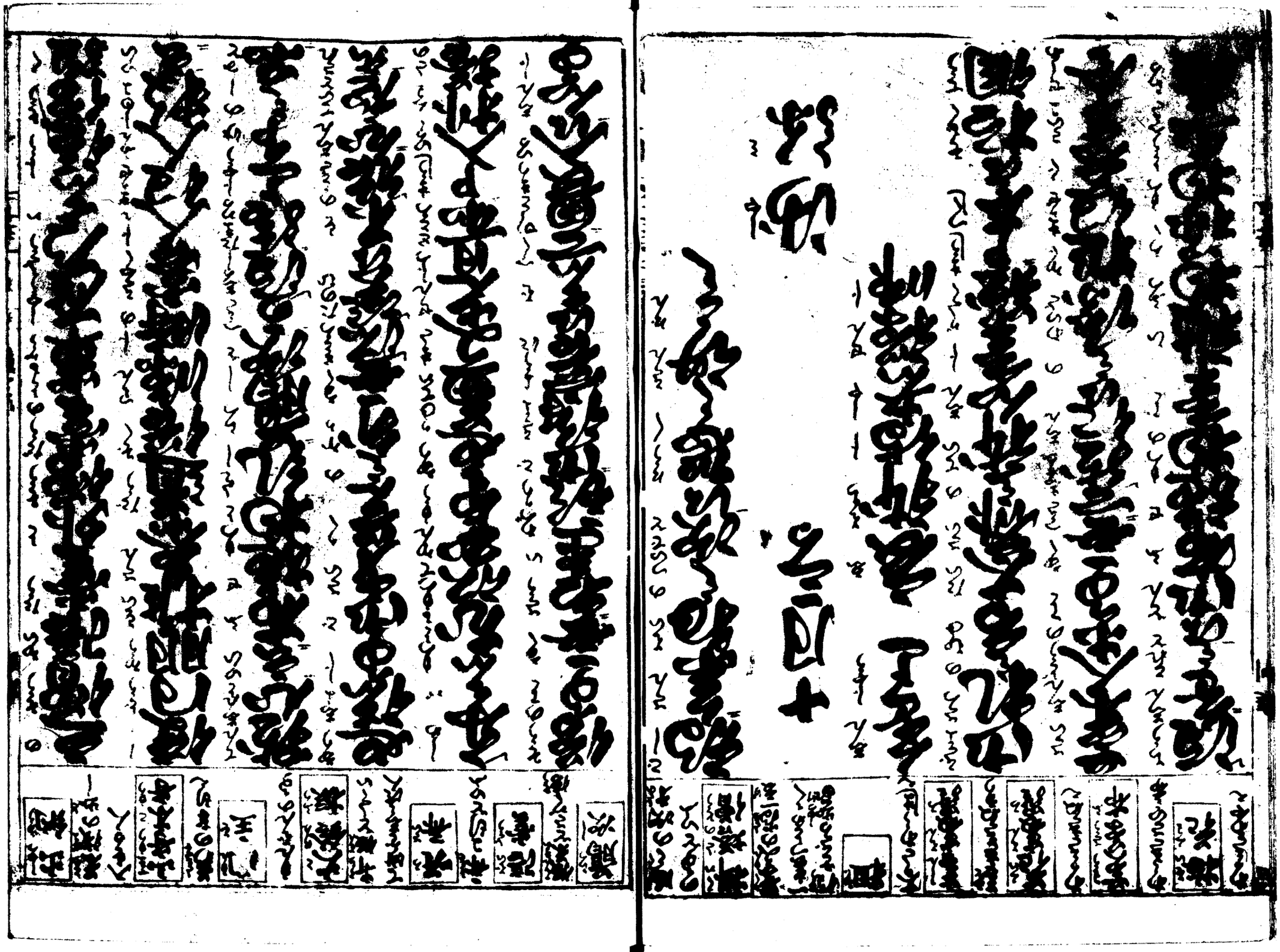
平入道殿
たいらのにゅうどうどの

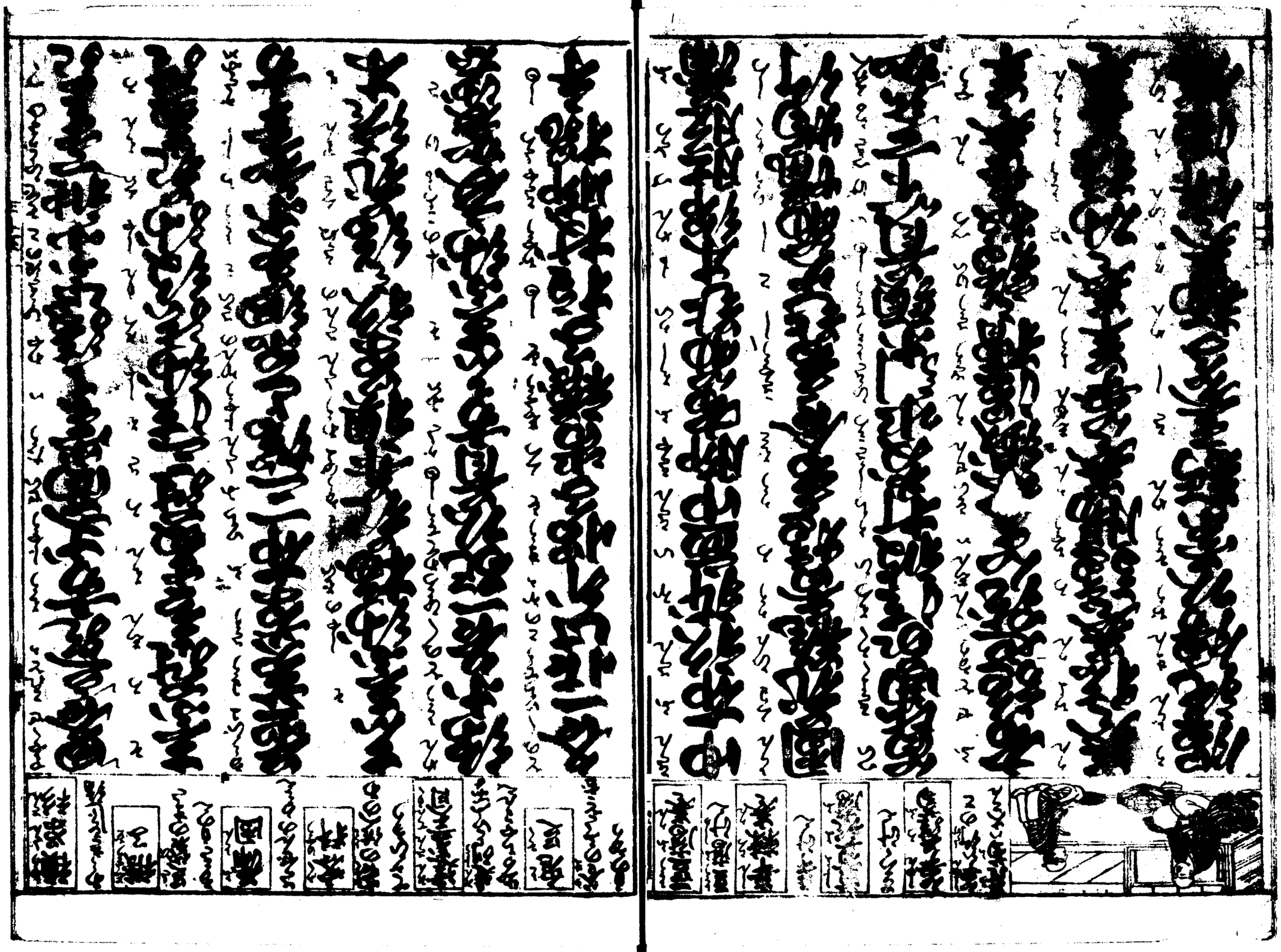
伯耆
ほうき

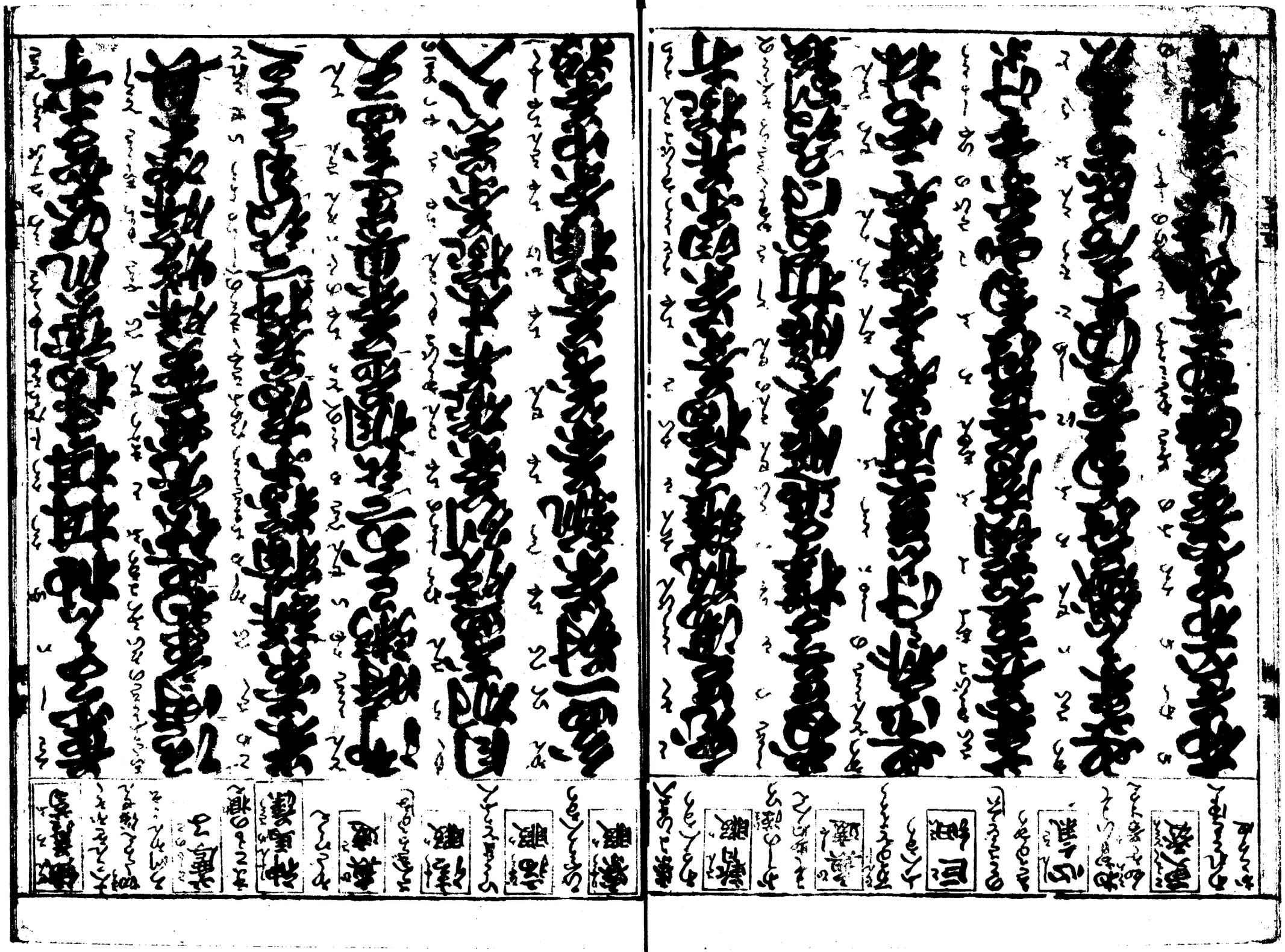
周章　あわてふためく
紙面　うわのかきもの
綴　つづりゆひ
新命　あたらしきいのち
相看　たがいにみる
掘法　ほりかた
庭詰　にわつめ

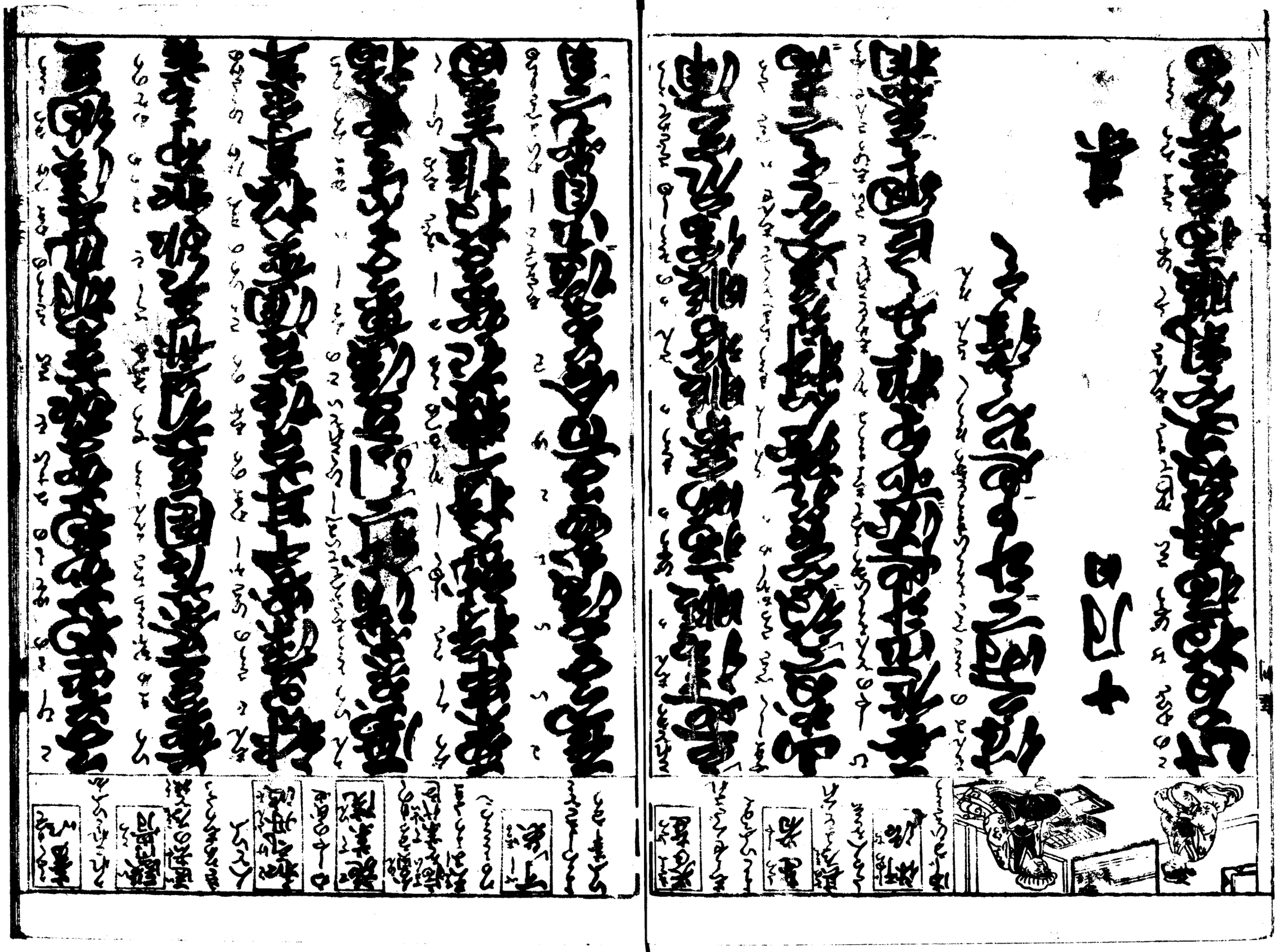
入使新発遣　西京へ下る
周辺ニ振舞　あたりにふるまい
經尽行方　ゆくへをつくす
祥瑞　よきしるし
三条西殿　さんじょうにしどの
次第　しだい
次第　しだい
次第　しだい
次第　しだい

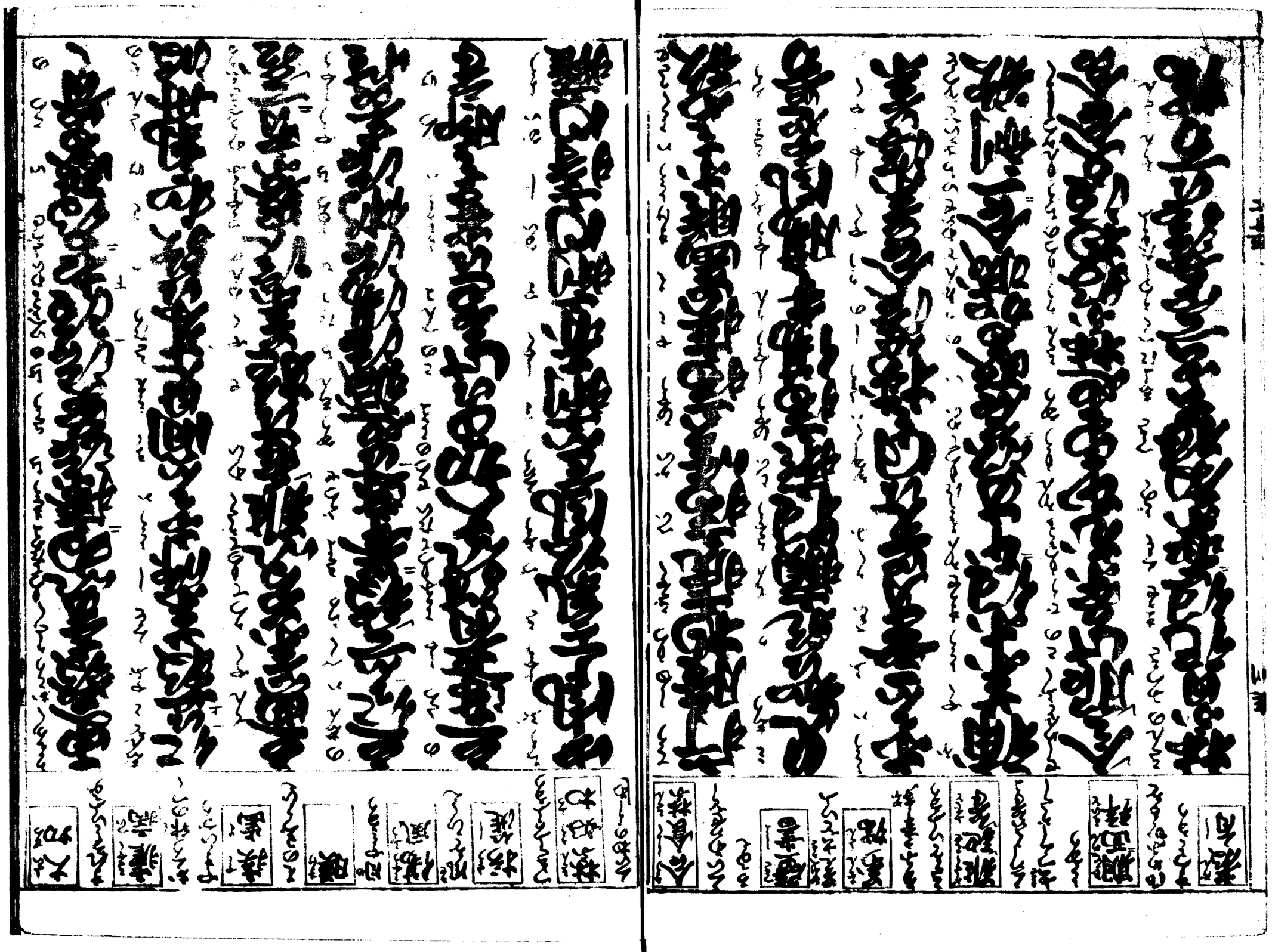
次第　しだい
次第　しだい
次第　しだい

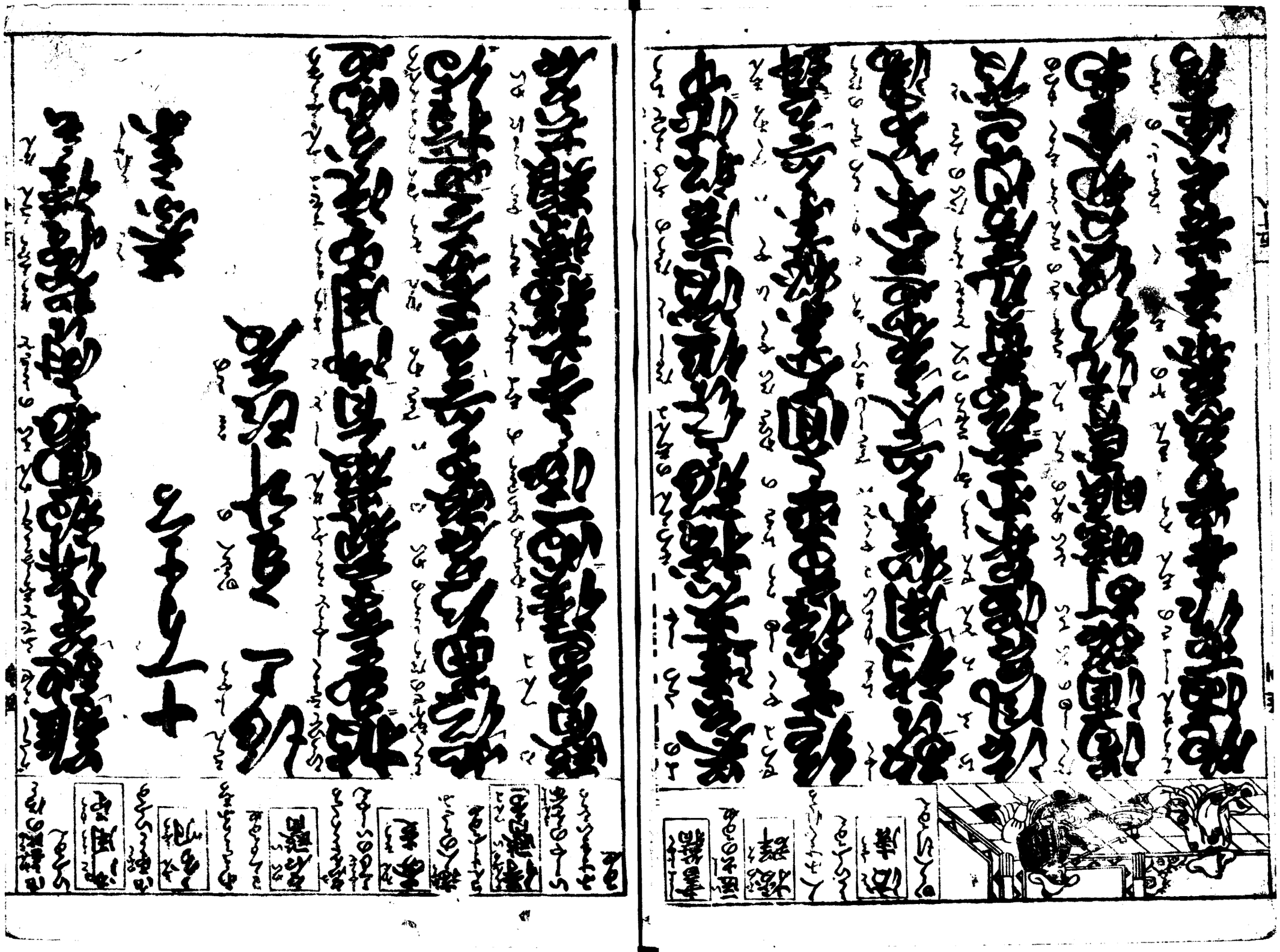




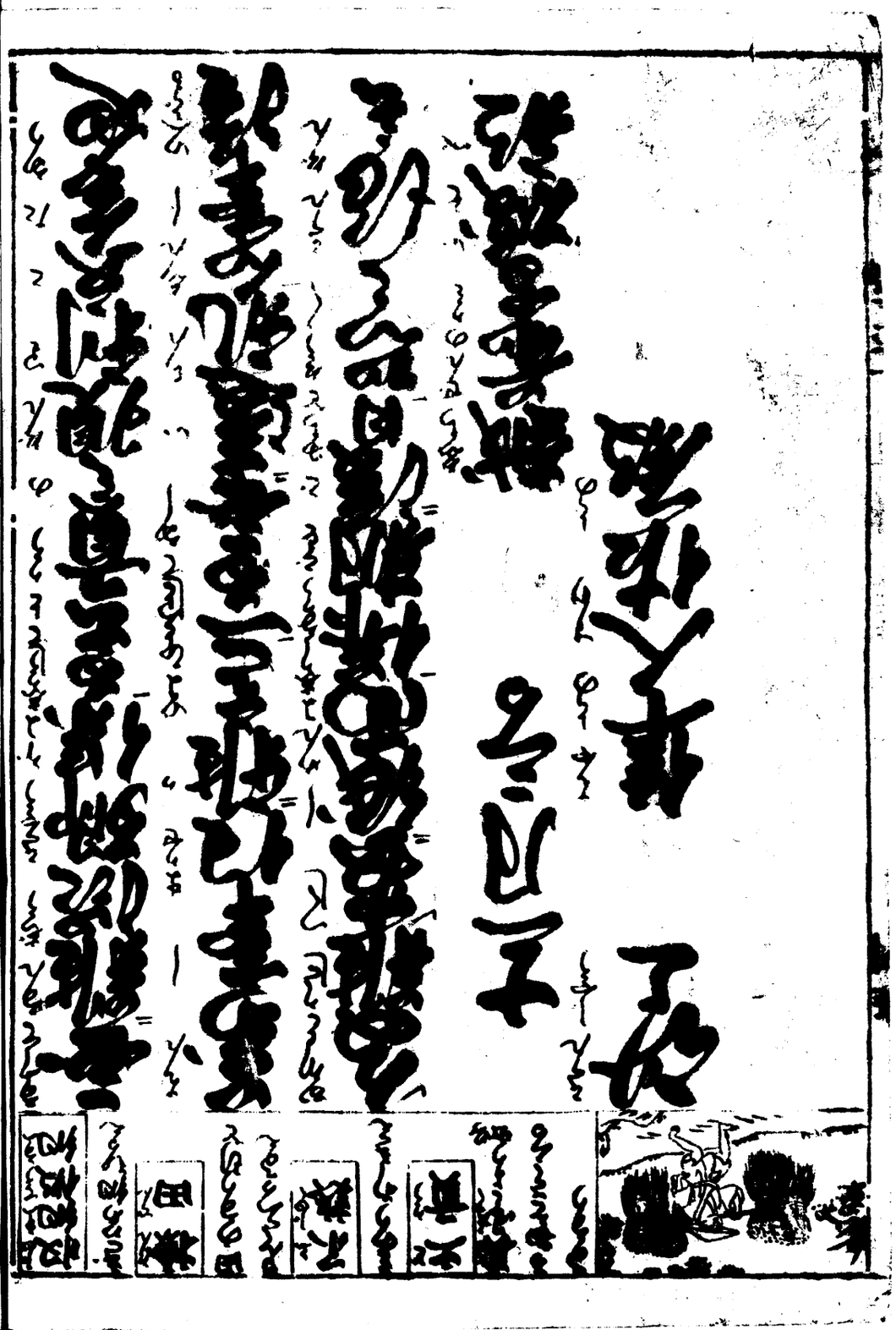








表紙
[illegible]
出產
[illegible]
[illegible]
[illegible]



十二支之図

篇冠撰書

東華中興館

日月行車ナオ巳目角口石牙

右ドル弓百方耳四東牙身

分肩什言夫行手羊羊

方法手出ちし巾刀广

ノ戸尸ず辶廴久隹隹人仙

宜二示田せ門門口ホ西皿鼠

片

イロハニホヘトチリヌルヲワカ

ヨタレソツネナラムウ井ノオク

ヤマケフコエテアサキユメミシ

ヒモセス

ンメ氏片す丁

假名

永禄秘用　金作の方

正月　三日 十二時 巳刻　四日 十一日 十八日 北方　木 午未申酉の方 性

二月　二日 十八日 北方　八日 十一日 巳午の時と医　木 戌亥寅卯辰巳の方 性

三月　九日 十二日 北方　三月九日の日と巳午の時と医　火 ひのえうまのとしの方 性

四月　四日 十一日 九日 北方　巳午未のとしの方 性

五月　八日 十二日 北方　申酉戌のとしの方 土 性

六月　六日 十二日 三十日　寅子丑のとしの方 金 性

七月　十二日 北方　三月十二日 十二時 三十日　申酉子午のとしの方 性

八月　仲秋　八日 仲秋の日と申酉の時と医　酉戌亥のとしの方 性

九月　季秋　重陽　九月季秋　酉戌亥のとしの方 性

十月　陽月　立冬　十月陽月立冬　酉戌亥のとしの方 性

十一月　冬月　仲冬　十一月冬月仲冬

筆者画工

明和九壬辰年正月吉日

下河邊拾水

京寺町通松原上ル町

蔦屋清兵衛板

十二支之部

子 丑 寅 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

東 草 中 鼠 牛 虎 兎 龍 蛇 馬 羊 猴 鶏 犬 猪

日 月 手 車 手 才 巳 目 角 口 石 牙

手 尸 山 弓 弓 弓 白 耳 田 東 才 身

分 骨 竹 言 天 手 手 手 手 手 手 手

古 古 草 竹 戸 し し 巾 月 广

戸 戸 广 ら 走 之 久 食 隹 人 仙

宮 二 和 和 門 門 口 口 西 四 鳥

片 イロハニホヘトチリヌルヲワカ

假 ヨタレソツネナラムウ井ノオク

名 ヤマケフコエテアサキユメミシ

エ ヒモセス ンメ

月の異名

正月 初春 青陽

二月 仲春 青陽

三月 季春 青陽

四月 孟夏 朱明

五月 仲夏 朱明

六月 季夏 朱明

七月 孟秋 白帝

八月 仲秋 白帝

九月 季秋 白帝

十月 孟冬 玄冬

十一月 仲冬 玄冬

十二月 季冬 玄冬

金神の方

木 土 火 金

吉日

下河邊拾水 画

赤坂門通松永二町

[illegible]